

# りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

りつめい No.236 / 2009年4月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年4回発行  
発行人 / 山中 諄  
編集人 / 中村 和歳  
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1  
Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217  
URL : <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/>  
<http://alumni.ritsumei.jp> (4月1日より)  
E-mail : [alumni@st.ritsumei.ac.jp](mailto:alumni@st.ritsumei.ac.jp)



巻頭企画

学び舎の変遷にみる  
立命館の歩み  
—びわこ・くさつキャンパス(BKC)編

Brilliance  
輝くひと  
68

母校愛だけでつながる校友会は  
非日常的な魅力でいっぱい  
立命館大学岐阜県校友会事務局長  
房野 麻紀子さん(97国関・'03院政策)

03 巻頭企画

## 学び舎の変遷にみる立命館の歩み —びわこ・くさつキャンパス (BKC) 編

01 輝くひと

房野麻紀子 さん

10 RITSUMEI INTERVIEW

### 日本の心で世界を癒すホテルマンは 元・生粋の野球人

株式会社プリンスホテル執行役員  
小山正彦 さん



03

14 都道府県校友会長を訪ねて

岩手県校友会会長 菊池 宏 さん  
沖縄県校友会会長 糸洲 昇 さん

16 校友会ネットワーク

17 オール立命館校友大会2009のご案内

### 全国都道府県校友会事務局長・幹事長会議報告

18 都道府県校友会・学部校友会連絡先一覧

20 立命館はご卒業後もあなたのそばに

22 立命館明日へのことば

未来を生みだす学園に  
川口清史 総長



10

24 学生のスポーツ&イベント

26 キャンパストピックス

29 輝いています、ときの人

浅尾将大 さん

30 INFORMATION

31 編集室から



24

表紙の人



立命館大学岐阜県校友会 事務局長  
房野麻紀子 さん ('97国関・'03院政策)

### 母校愛だけでつながる校友会は 非日常的な魅力でいっぱい

1月17日に行われた「立命館大学全国都道府県校友会事務局長・幹事長会議」の懇親会場で、卓を囲んだ皆さんと笑顔で写真に納まってくれた房野さん。昨年夏の岐阜県校友会総会で正式に任についた、気鋭の事務局長だ。普段は会社役員、2児の母でもある。

あえて“新進”気鋭とは書かない。校友会活動歴は10年を超えているのだ。学部卒業の年から県総会に参加、翌年からは司会を任せられ、さらに会報の編集や総会案内状の発送、会員名簿の整備などを手伝ううちに、いつしか事務局次長として名簿に載るように。そして今日に至っている。

しかし初めは校友会の存在すら知らなかったそう。[父が懇意にしている服部修三副会長('67経営)に強く誘われて総会に出てみたものの、百数十名の大先輩方の中で戸惑うばかり。次の年、“司会を”と声をかけていただかなければ、たぶん1回限りで終わっていました。でも、立命館と校友会を愛して一生懸命活動していらっしゃる先輩方の姿に感化されていき、この会をずっと残し、発展させたいと思うようになりました。]

自らの初めの当惑を下地に、若手や女性の心理的なハードルを取り除こうと努めている。「まずは十数名規模でいい。気軽に校友会を体験していただくために県内各地で地域懇親会を始めたいと思いますし、若手部会も継続的に頑張りたいです。一度“頼むよ”とおっしゃったら本当に任せて下さって、必要な時には細やかなフォローで守って下さる、成瀬正会長('76法)や小倉正紀前副会長('64法)、折戸優児副会長('76産社)ほか諸先輩方には感謝の気持ちでいっぱい。校友会は母校愛だけでつながっている不思議なほど純粋な会。そして普通には会えない方々の高い見識に触れられ、勉強にもなる、非日常的な魅力に溢れた会です。今年の名古屋で校友大会がありますので、近県の方々とも手を取りあえるのが楽しみです。皆さんもぜひ仲間に入ってくださいね!]

(写真・小幡豊 文・寺田直子)

# 学舎の 変遷にみる 立命館の歩み

## びわこ・くさつキャンパス(BKC)編

立命館大学の“新しい”キャンパスとしてスタートした  
びわこ・くさつキャンパス(BKC)。

気がつけば、今春で開設から満15年となりました。

立命館109年の歴史の中で大きな存在感をもって輝く  
BKCの歩みをごらんください。



# Biwako Kusatsu Campus

➔ 1980年代後半から、理工学部の抜本的拡充が全学的な課題として浮上してきました。科学技術の高度化に伴う、教育・研究に対する社会的要請のいっそうの高まりに応えるためには、理工学部・大学院理工学研究科の再編・拡充が不可欠だったのです。しかし衣笠キャンパス周辺には拡張の余地がなく、滋賀県草津市南部の丘陵地に新しいキャンパスを開設することになりました。

滋賀県と草津市の協力を得て確保された校地は約60ヘクタール、衣笠キャンパスの4倍もの広さです。周辺に滋賀県立図書館・近代美術館等の文化施設や、龍谷大学瀬田キャンパス・滋賀医科大学などの教育研究施設がある滋賀県下最大の文化ゾーンの一画で、企業の研究開発施設も集まっています。また名神高速道路や国道1号線、東

海道新幹線・東海道本線が通り、人や物資が多く行き交う地でもあります。新校地には豊かな発展可能性が備わっていました。

➔ 造成工事に続き、1992年9月には建物の工事が始まり、翌93年11月末には第1期の工事が完了、びわこ・くさつキャンパス(BKC)が誕生しました。

1994年の春、理工学部・理工学研究科は学科・専攻の再編拡充を果たすとともにこのBKCへ移転しました。学生数はおよそ5000名。研究機材の分解・運搬・組み立て設置作業にはおよそ半年間もの時間を要しましたが、全国の大学でも屈指のコンピュータネットワークやマルチメディア環境、先端的研究設備を備えた未来志向のキャンパスで、学生たちは存分に勉学に勤しめるようになりました。

なお、BKC各施設の名称は英語風のカタカナの名前です。1期に竣工した18施設のう

ち、8つについては、学生から募集して選ばれた名称が採用されました。

➔ 1998年の春には、経済・経営の両学部・研究科もBKCへと移りました。社系の教学を高度化しつつ、エコノミクス・ビジネス・テクノロジーの3分野が連携して文理融合型の教育研究環境を構築することは、新時代において求められる人材育成の課題に代えることであり、社会に開かれた大学として産官学地域連携を強化していくうえでも必要だったのです。また外国語学習環境や情報化環境も一段と増強されました。

この新展開にあたり、アクロスウイング、アドセミナリオなどの新棟が建設され、既存施設の改修も行われました。BKCはキャンパス内で正課はもとより様々な課外活動やイベントまでできる「長時間活動・多機能型キャンパス」へと生まれ変わりました。



BKCで初めて行われた立同戦合同情宣(1994年5月)



竣工直後のアクロスウイング(1998年)



アクロスウイング内部



BKC新展開起式(1996年)



セントラルサーカスにて

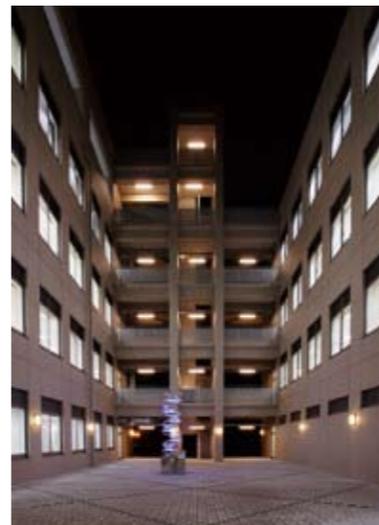


メディアセンター



ナイトハイクのひとこま(1994年6月)

年表・校舎竣工年	
1989年	●滋賀県草津市への新キャンパス設置、理工学部拡充移転を発表
1992年	●びわこ・くさつキャンパス建築工事起式
1993年	●理工学部衣笠学舎「さよならの集い」開催 ●びわこ・くさつキャンパス建物竣工 ●コアステーション・イーストウイング ●ウエストウイング・メディアセンター ●ユニオンスクエア・プリズムハウス ●エクセル1～3・セル ●ワークショッププラボ・レクセル ●フォレストハウス・BKCジム
1994年	●びわこ・くさつキャンパス開学 ●理工学部生物工学科・環境システム工学科を設置 ●情報工学科を改組し、情報学科を設置
1995年	●テクノコンプレクス・シーキューブ 竣工
1996年	●理工学部光工学科・ロボティクス学科を設置 ●SRセンター棟竣工
1997年	●ハイテクリサーチセンター棟竣工
1998年	●文理融合キャンパスとしての新展開に向けた新施設竣工 ●アクロスウイング・アドセミナリオ ●コラーニングハウスI・ ●学術フロンティア共同研究センター ●アクトα、β・リンクスクエア ●アスリートジム・ビーイングスクエア ●経済・経営両学部 ●びわこ・くさつキャンパスに移転、新展開 ●文理総合インスティテュート設置



サイエンスコア(2008年)

➔ 21世紀を迎えたBKC。本格的なホールや茶室まで備えた多機能型セミナーハウスであるエポック立命21などが建ち上がり、ますます充実した学生生活が送れるようになりました。

2004年、情報理工学部が設置され、学部基本棟クリエイションコアができました。またBKCで進められてきた産官学地域連携を更に強化し、大学と地域産業界の協力により新事業の創出・育成を目指す場として、立命館大学BKCインキュベータも建ちました。ここには多くの企業が入居しており、また学生に対する起業支援も行われています。

2005年には、サークルスペースや自治会施設、飲食スペースなどを備えた学生の集いの場として、セントラルアークが誕生しました。

2005年竣工の防災システムリサーチセンターは、文部科学省21世紀COEプログラムに採択されたなど実績のある立命館大学の防災研究を、さらに深めるために建てられました。建設環境系・情報系・機械系の研究者が連携してプロジェクト研究に取り組めます。学際的な先進研究を推し進めてきた本学の教学・研究のありかたを体現する施設のひとつです。

そして2008年には、サイエンスコアを基本棟とする生命科学部・薬学部が設置されました。開設から間もなく満15年、学生数・建物の数ともに当初の規模の3倍以上に成長したBKCは、まだまだ発展を続けます。



新歓祭典(2008年)

年表・校舎竣工年	
2000年	●理工学部数学物理学科を改組、数理科学科・物理科学科を設置 ●ローム記念館竣工
2001年	●理工学部光工学科を電子光情報工学科に名称変更 ●理工学研究科にフロンティア理工学専攻を設置 ●エポック立命21竣工
2003年	●コラーニングハウスII竣工
2004年	●情報理工学部を設置(情報システム学科・情報コミュニケーション学科・メディア情報学科・知能情報学科・生命情報科学科) ●理工学部に電子情報デザイン学科・マイクロ機械システム工学科・建築都市デザイン学科を設置 ●クリエイションコア・立命館大学BKCインキュベータ ●アスリートクラブハウス・アクトμ 竣工
2005年	●大学院テクノロジー・マネジメント研究科(MOT大学院)を開校 ●セントラルアーク・防災システムリサーチセンター 竣工
2006年	●経済学部国際経済学科、経営学部国際経営学科を設置 ●キャンビー・燃料電池研究センター 竣工
2008年	●生命科学部(生命医科学科・応用化学科・生物工学科・生命情報科学科)薬学部(薬学科)を設置 ●サイエンスコア 竣工



学生ベンチャーコンテスト最終選考会(2004年)



セントラルアークにて



情報理工学部知能情報科学  
生体ロボット研究室



びわこ・くさつキャンパス開学10周年記念式典(2004年)

# BKC発展の軌跡 — 校舎を竣工年順に追う

## 1990年代◆前半 →

BKCキャンパス開設・理工学部移転の当初に必要な教室棟・研究棟・事務棟や、学生の「暮らし」に直結する食堂等の施設、体育施設が建てられました。

1	コアステーション	1993	総合理工学院事務室、BKCキャンパス事務課、役員室、会議室など
2	イーストウイング	1993	理工学部研究・実験室、教員個人・院生研究室
3	ウエストウイング	1993	理工学部研究・実験室、教員個人・院生研究室、保健センター
4	メディアセンター	1993	図書・新聞・雑誌閲覧室、マルチメディアルーム、グループ学習室、セミナールームなど
5	ユニオンスクエア	1993	エクステンションセンター、キャリアオフィス、インターンシップオフィス、教職支援センター、生協食堂、ホールなど
6	プリズムハウス	1993	学びステーション、エクステンションセンター、キャリアオフィス、インターンシップオフィス、プリズムホール、情報語学演習室、情報処理演習室など
7	エクセル1	1993	理工学部・情報理工学部の実験室など
8	エクセル2	1993	理工学部の研究・実験室
9	エクセル3	1993	理工学部の研究・実験室
10	セル	1993	理工学部環境都市系の水理・風洞・土質・構造・材料に関する各実験室
11	ワークショップラボ	1993	機械工作室
12	レクセル	1993	RI実験室(放射線研究施設)
13	フォレストハウス	1993	教室棟
14	BKCジム	1993	第1・第2アリーナ、トレーニングルーム、ミーティングルームなど



ウエストウイング



コアステーション



立命館大学ローム記念館



立命館大学BKCインキュベータ



メディアセンター



エクセル3



BKCジム



ユニオンスクエア



## 1990年代◆後半 →

経済・経営両学部の移転に伴う、「BKC新展開」の時期でした。社系の教室棟・研究棟・事務棟が建つとともに、学生数の増加に対応して、学生活動のスペースや食堂スペースも増やされました。

15	テクノコンプレクス	1995	理工リサーチオフィス、SRセンター、ハイテクリサーチセンター、マイクロシステムセンターなど
16	喫茶・グリル「シー・キューブ」	1995	生協の喫茶・グリル
17	アクロスウイング	1998	BKC国際教育課、国際交流ラウンジ、情報語学演習室、メディアラボ、メディアライブラリー、大学院共同研究室、教員個人研究室、人文社会リサーチオフィスなど
18	アドセミナリオ	1998	経済学部事務室、経営学部事務室、教室など
19	カラーニングハウスI	1998	情報処理演習室、情報語学演習室、教室
20	学術フロンティア共同研究センター	1998	理工学部の研究・実験室、情報理工学部の実験室
21	アクトα	1998	サークルラボ
22	アクトβ	1998	サークルラボ
23	リンクスクエア	1998	生協食堂・書籍部・サークルスペースなど
24	アスリートジム	1998	トレーニングルーム、ミーティングルーム
25	ビーイングスクエア	1998	広場



学術フロンティア共同研究センター



テクノコンプレクス



サイエンス コア



防災システムリサーチセンター



アクロスウイング



リンクスクエア



キャンपी



セントラルアーク

## ← 2000年代◆前半

情報理工学部棟の新築や、エクステンションセンターで学ぶ学生のための自習スペース設置などがなされました。

26	立命館大学ローム記念館	2000	大会議室、教員個人研究室、ホール、理工リサーチオフィス
27	エボック立命21	2001	多機能型セミナーハウス
28	カラーニングハウスII	2003	インスティテュート研究室、演習室、教室、立命館高等学校スーパーサイエンス施設など
29	クリエーションコア	2004	情報理工学部基本棟
30	立命館大学BKCインキュベータ	2004	(独)中小企業基盤整備機構による大学連携起業家育成施設(開発・実験・研究施設)
31	カラーニングハウスIII	2004	エクステンションセンター公認会計士オフィス、自習室他(改築後)
32	アクトμ	2004	音楽練習場



エボック立命21



クリエーションコア

## ← 2000年代◆後半

生命科学部・薬学部棟や、キャンパスインフォメーション機能を備えたキャンピの新築、体育施設の増設等がなされました。

33	セントラルアーク	2005	学生オフィス、スポーツ強化オフィス、学生サポートルーム、ボランティアセンター、サークルスペース、自治会施設など
34	防災システムリサーチセンター	2005	理工学部・情報理工学部の防災研究施設・実験室
35	キャンピー	2006	キャンパスインフォメーションセンターなど
36	燃料電池研究センター	2006	産学連携による研究施設
37	サイエンス コア	2008	生命科学部・薬学部基本棟

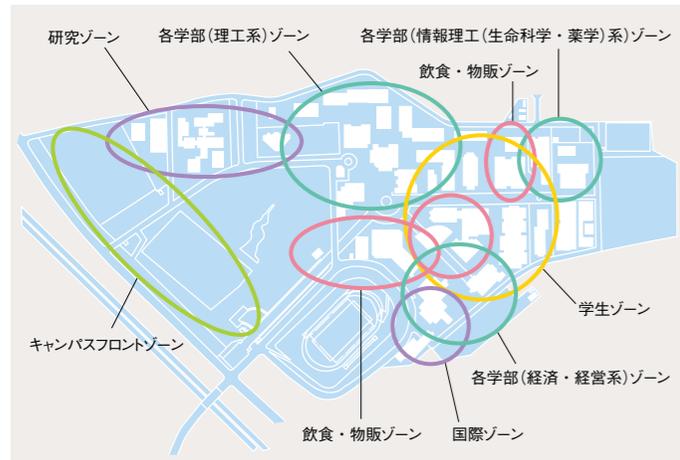


約16,000人の学生が学ぶBKCは、もはやひとつの町といっても過言ではありません。学生の勉学・研究・課外活動・生活の環境をさらに豊かで便利なものにするために、BKCでは現在もキャンパス整備が進められています。

2010年春の開設を目指しているスポーツ健康科学部(仮称)・スポーツ健康科学研究科(仮称)もBKCで展開する予定で、今後もまだまだキャンパスの変容が続きます。

## キャンパスゾーニング

学びの場である各学部・研究科の施設、その他の研究施設、国際化関連施設、飲食・物販関係施設など、キャンパス内の建物がもつ機能がいっそう集約され、便利になるように、整備計画が進められています。



## ちょっと寄り道

### クインズスタジアムと木瓜原遺跡

BKCのメイングラウンドであるクインズスタジアムの地下には木瓜原遺跡が眠っています。ここは7世紀頃に鉄器などが製造されていた、いわば製鉄コンビナートの跡です。キャンパス造成の際に発見され、保存されています。太古の昔、この地は植物の木瓜(ボケ)の原生林だったそうで、燃料となる薪が潤沢だったために製鉄炉の場所が移らず、古代の大規模な製鉄所として発展したと考えられています。ちなみに、クインズとは木瓜の英語名です。

さて立命館スポーツの殿堂クインズスタジアムには、“隠れた役割”があります。万一非常な大雨が降ったときには、このスタジアムに雨水がたまり、キャンパスの冠水を防ぐように設計されているとのこと。

## アメニティの向上

### 1. 食堂等

学生の食事の質と量をより高めるため、ユニオンスクエアの2階に900席のフードコートを整備中です。ここは朝食時間帯にも利用できるため、ユニオンスクエア内で、朝・昼・夜いずれの食事もとれるようになります。また、食堂の以外の場所でも食事ができるよう、テイクアウト型の店舗の増設も考えられています。2008年6月にセントラルーク内にオープンしたサンドイッチ店「サブウェイ」等の店です。ここではBKC近くの地域で採れた野菜の地産地消などの試みもなされています。弁当の移動販売車もあります。



### 2. 通学の便

現在、多くの学生がJR南草津駅からバスもしくは自転車でBKCへ通っていますが、時間帯によっては混み合います。そこでJR大津駅や京阪中書島駅とBKCを結ぶバスの運行も始まっています。

### 最新のスポーツ施設

2007年9月、アメリカンフットボール部とラグビー部専用の人工芝グラウンド(両部が1面ずつ使用)「BKCグリーンフィールド」と、最新のトレーニング機器を備えた「アスリートクラブハウス」が誕生しました。両部とも立派な戦績をおさめ、早くも環境向上の成果が得られています。



これら3枚の空撮写真それぞれの撮影時期は、上から順に、1994年7月→1998年9月→2008年3月です。キャンパスが特に大きく変貌したこれらの時期。見比べてみると、校地に建物が増えていく様子がよくわかります。さて、さらに10年後にはどのような姿になっているのでしょうか。楽しみです。



← 1994年7月



1998年9月 →



← 2008年3月



クインズスタジアム



木瓜原遺跡



遺跡へ下りる通路

# 日本の心で世界を癒すホテルマンは元・生粋の野球人

小山 正彦 さん（'79経済）

株式会社プリンスホテル 執行役員  
ザ・プリンス さくらタワー東京  
グランドプリンスホテル高輪・新高輪 総支配人

## 野球に導かれた半生

東京・品川駅の雑踏を抜け出てきたばかりであることが俄かには信じられないような、安寧で静かな空間が、そこには広がっている。

ザ・プリンス さくらタワー東京、そしてグランドプリンスホテル高輪・新高輪。約2万㎡もの広い日本庭園は、総支配人の小山さんにとっても癒しの場所である。

小山 四季折々の花が美しいですからね。いまは桜の季節が早く来ないかと心待ちにしているのです。ここには昭和の名建築家の手による茶室や、奈良県の古刹から移築されてきたといわれている観音堂、鐘楼もあります。都心のこのホテルで、日本の自然と文化の豊かさが凝縮された味わいをお楽しみいただけるということは、私たちスタッフにとっても嬉しく、誇りでもあります。

日本庭園を大きなストライドで歩む小山さん。189cmもの長身で、ひときわ存在感がある。実はかつて、関西学生野球・社会人野球で活躍していたのだ。立命館大学と小山さんを結びつけたのも、この野球であった。

小山 硬式野球部の中尾卓一前監督（'51経済）が、私の高校時代のプレーを見て下さっていて。当時、野球部OB会の幹事長でいらした中尾さんから「立命館で野球をやらないか」と声

をかけていただき、私のほうも京都という街への憧れもありまして、立命館を目指しました。

入学後は、勉強もするにはしましたが（笑）、やはり野球中心の4年間でした。学生時代を思い起こすと甦るのは、柘野グラウンドでの練習と、試合のシーン、共に苦勞した友人の顔ばかりです。好きな野球とはいえ、つらい、やめたいと思うこともありました。練習そのものが苦しいというよりも、勝てなかったことが……。特に1、2回生のときには、田尾安志さん（中日ドラゴンズ入団）を擁する同志社大学や、斉藤明夫さん（大洋ホエールズ〔当時〕入団）がいた大阪商業大学が、私たち立命館の前に立ちだかっていた。私は1回生の頃から試合に出していただいて、そのぶんチームに貢献したかったのですが、思うようにならず、なおのことつらかったです。

そして3回生の春、満員の西京極球場でついに立命館に勝利し、関西学生野球リーグで12年ぶりに悲願の優勝を勝ち取ることができました。野球を続けていてよかったと、みんなで涙を流しました。本当の勝利の味の思い出です。翌年の春にも優勝し、苦しさも嬉しさも、先輩後輩や仲間との思い出も、すべてを財産として卒業することができると感じて感無量でした。

折も折、プリンスホテル野球部創設の話がもちあがり、小山さんにも誘いの声がかかった。小山さんの社会人としての生活は、産声を上げたばかりのプリンスホテル硬式野球部の選手として始まった。

小山 野球部員は本社の人事部所属で、ほとんど野球が仕事で



した。私は選手としては数年で退きましたが、コーチとして長い時間を過ごしました。チーム運営という、学生時代とは違った立場で試行錯誤を繰り返す日々でした。当時の社会人チームとしては珍しく、アメリカやキューバへの遠征を許されるなど、刺激にあふれていましたね。アマチュア野球世界最高レベルの国キューバで、試合・トレーニングを一緒にを行い、選手の育成方法まで勉強できたことは、大変貴重な経験でした。

そして11年目の1989年、数々の努力がやっと実り、都市対抗野球の第60回大会で優勝することができたのです。その時、「これで野球に思い残すことは何もない。けじめをつけよう」と思いました。当時、既に33歳。これからは会社の仕事を精一杯頑張りたいと、私は監督に退部を願い出しました。

## コーチとして培った マネジメント・マインド

90年1月に配属された先は、品川プリンスホテルの総務課

であった。当初数か月は横浜プリンスホテルの開業準備を手伝い、品川に戻ると6月には早くも課長になった。野球部時代には、仕事といってもシーズンオフに宴会現場で机運びなどの手伝いをしたり、書類整理をしたりする程度だったという小山さん。“会社の仕事”とどのように向き合ったのだろうか。

小山 当時の私は、大柄、色黒、無愛想（笑）。自分ではホテルマン向きではないと思っていました。西武系のゴルフ場あたりへ行くのだろうと漠然と考えていましたが、そうではなく、ホテルに残ることがまず予想外でした。

しかし総務という管理部門だったことがよかった。チームを引っ張る、支えるというコーチ時代の経験が、大いに活かされたのです。総務部門では、社員のモチベーションを上げる工夫をしたり、トップが描いている会社の方向性を各々の現場に伝えたりすることも大切です。これはまさにコーチの仕事です。

選手だった頃は、自分の活躍によって勝ちたいと思い、自分の成績を第一に考えがちでした。人間誰しもそうだと思います。しかしコーチになると、自らプレーすることはもうできません。選

手たちの特徴を見抜き、自分のチームと相手チーム、双方の戦力分析を重ねながら、どうしたら個々の選手の能力を最大限に発揮させられるかを常に考えることになります。それと並行して、監督の考えを分かりやすく選手に伝えたり、私なりの意見や選手と接して感じたことを監督に具申したりと、監督・選手間の橋渡しもしました。加えて、勝つためにやらなければならないことを大会時期から逆算して調整し、選手たちの気持ちも大会時にピークにもっていけるよう、もう1人のコーチやマネージャーと共に心がけていました。これらの方法を考え抜き、実行しては失敗し、また考えて……、この繰り返しの日々でした。監督1人がすべてを考えてやっていけるようなチームはありえないということも実感しましたね。

今でも、野球を例に出して社員に仕事の話をすることがあります。内心で「野球と仕事は違うよ」と思っている社員もたくさんいるでしょう。しかし、野球チームも会社も人が集団で動くことには違いない。私の頭の中、心の中のありようは、野球でも仕事でも同じです。

それに、個々の選手の役割を考えるとという行為は、知らず知らずのうちに、組織の中での自分の役割を考える訓練にもなっていたのでしょう。後から気付いたのですが、これは働く上で、非常に大事なことだと思います。

### 営業成績との格闘

9年間を総務部で過ごした後、小山さんは同ホテルの宿泊部長を務め、続いて大津プリンスホテルの支配人となった。「利益を生み出さねばならない」という大きな責任が新しく加わり、会社の仕事の難しさ、厳しさをひしひしと感じることになる。

小山 若い頃にはさほどの壁は感じませんでしたが、経営者とは言わないまでもそれに近い立場になりますと、さすがに野球の



世界とは様子が違ってきました。一生懸命とか、メンバーの心の掌握と言っているだけでは済まないのです。

大津に赴任していた頃、特に冬には集客に苦労しましたが、赤字を出すわけにはいきません。ここで「分析する」習慣が役立ちました。どこにお住まいの、どんなお客様が、どういう経路で予約をされて、このホテルを利用して下さっているのか。徹底したマーケティングですね。そのデータをもとに、旅行会社さんや、企業の出張・福利厚生のご担当窓口へ、東京だ、大阪だと、営業担当者に同行してしばしば足を運びました。ホテルの魅力をアピールするだけでは足りないと思い、大津、琵琶湖、滋賀県の様々な魅力、観光資源を伝えることにも心を砕いていました。社員の間に何とはなしに漂っていた、「努力しても京都には勝てない」という気分を払拭するためにも、「やり方や言い方で伝わるものが必ずある」と身をもって示したいと思ひました。社員が私の心意気を感じ取ってついてきてくれるようになり、嬉しかったですね。

### 京都・日本の文化力を付加価値として

野球引退から16年、小山さんは50歳で株式会社プリンス

ホテルの執行役員に就任した。世界で5ホテルのみの同社の最高級ブランド「ザ・プリンス」の1つと、それに次ぐハイグレードブランド「グランドプリンスホテル」2つを預かる小山さんの眼差しは、広く海外にまで向けられている。

小山 社員にもよく言っています。「我々は日本文化の発信基地になっていこうじゃないか」と。まず庭園をご案内したのも、当ホテルの魅力をご覧いただきたかったからです。スタッフ1人ひとりの中にこのような使命感がなければ、他のホテルとの差別化は図れません。東京には世界の有名ブランドのホテルが、数多くあるのですから。

私共のホテルには国際館パミールというインターナショナルコンベンションセンターを備えていることもあり、海外からのお客様も多くいらっしゃいます。単に国際会議の場を提供するだけではなく、日本文化の味を加えてお使いいただくことによって、日本の良さを世界にPRできます。そして「高輪を使ってよかった」と認めていただければなお有り難いのです。禅のスピリットをコンセプトにしたこの客室\*も、それを意識したものです。

日本文化といえば、やはり京都ですね。いま私は、京都の立命館大学で学生時代を過ごして本当に良かったなあと、改めて感じています。日本文化の源流の地に身を置いて知ったこと、大津にいた頃に体験したこと、それらをここで打ち出していけば、お客様にご満足いただくためにきっとプラスになるだろうと。東京で唯一「京野菜マイスター」の称号をもつシェフが、いま、ここに居ります。京都から、企画広報・料理などのスタッフを呼び寄せて、新しい戦略を練っているところです。

私はこの3つのホテルを、お客様も、働いているスタッフも何かしら豊かな気持ちになれる、何かを学べる、あるいは元気になれる、そのような存在に育てたいと思っています。そのためにはもちろん、私自身ももっと勉強して、レベルを上げていかなければならない。そう肝に銘じています。

\*グランドプリンスホテル新高輪  
ザ・クラブフロア エグゼクティブクラブスイート

## Masahiko Koyama



- 1956年 兵庫県に生まれる
- 1975年 立命館大学経済学部入学  
体育会硬式野球部入部。1回生時から活躍。
- 1979年 同 卒業  
株式会社プリンスホテル入社。同社硬式野球部入団。
- 1989年 プリンスホテル硬式野球部、第60回都市対抗野球大会で優勝。これを機に野球部を退部。
- 1990年 品川プリンスホテル 総務部 総務課長
- 1996年 同 総務部 次長
- 1999年 同 宿泊部長
- 2001年 大津プリンスホテル 支配人
- 2005年 品川プリンスホテル 総支配人
- 2006年 株式会社プリンスホテル 執行役員  
高輪・新高輪プリンスホテル(当時)兼  
品川プリンスホテル 総支配人
- 2008年 同社 執行役員  
ザ・プリンス さくらタワー東京、  
グランドプリンスホテル高輪・新高輪 総支配人



関西学生野球 1978年春季リーグ優勝の瞬間

# 岩手県

岩手県校友会会長  
菊池 宏さん(65文)  
2008年7月就任

オブザーバー  
岩手県校友会顧問(前会長)  
多田和生さん(59文)

立命館大学をお選びになった理由や、学生時代のエピソードをお話いただけますか。

菊池●私は地理が好きで、大学では人文地理を学びたいという思いがありました。この分野なら立命館だと。岩手大学の地理の教授に、立命館の大先輩、川本忠平先生(46法文)という方がいらっしゃいまして、その先生の評判を聞いたことも志望動機の1つでした。

仕送りが届くと、まず買ったのは学食の定食の回数券1か月分です。1食35円なり。これで1日も休まずに大学へ行き、しっかり食事もある(笑)。夜は、四条大橋のたもとの「東華菜館」や五条通の洋品店でアルバイトをしました。



菊池会長

私がアルバイトで下宿を留守にしている間に、同級生たちが勝手に部屋に上がって、ちゃっかりパンを食べたりしてしまてね。「ご馳走さまです」と、屈託なく笑うんです。ずっと親しくしている友人たちです。

京都という異空間で学べたことはよかった。それに関西の人たちの積極的な様子を見て、「もっと自分を出さなければ。性格を変えよう」とも思いました。勉強になりました。

岩手県校友会は設立が1992年ということで、比較的新しいですね。

菊池●はい。設立の経緯については、多田顧問がよくご存知なので、お願いします。

多田●初代会長の高橋三郎先生(50経済)が苦勞されたんです。広い県内、どこの誰が立命館校友なのかわからなくて。高橋先生は、まず「岩手県学事関係職員録」を手がかりに、「同窓会をやらないか」と1人ずつ声をかけていかれました。当時は出身大学が名簿に書かれていたのでね。菊池さんも私も教員でしたので、呼びかけに応じました。

菊池●こうしてまず教職員を中心にスタートしたのです。新聞等に総会案内を載せてもらううちに、いろいろな職業の方が集まるようになりました。民間にお勤めですが、ごく早い時期から事務局長として長く頑張っておられた大橋謙一副会長(71産社)のような方もいらっしゃいます。今の酒井博忠事務局長(75文)もご夫妻で会を支えておられます。

では菊池会長、ご抱負はいかがですか。

菊池●7年間務められた名物会長の多田先生の後なので、責任重大です。現在は夏に総



本年新年会でのひとこま



女子駅伝応援の際に  
(左から)酒井事務局長・大橋副会長・  
酒井邦子さん(75文)

会、冬に新年会と、主な行事は年2回ですが、花見など気軽に参加していただけるイベントを工夫したいですし、総会も、みんなでゆっくりできるように温泉で1泊ということも考えてもいいかもしれない。

多田●県内の移動だけで時間がかかるしね。



多田顧問

菊池●それから秋に仙台で行われる「全日本大学女子駅伝」の応援。これをツアー行事として育てていければと思います。宮城県校友会さんなど、近隣の会との交流もできることが楽しみです。

昨年事務局長補佐・平成卒校友担当として澤口達哉さん(91文)にも手伝っていただいています。若い世代の皆さんともつながりを深めたいです。岩手県校友会はとにかくアットホームで温かいので、一度参加されたらすぐ仲間になれます。東京からわざわざ駆けつけてくれる30代の会員もいらっしゃいます。皆さんもぜひどうぞ。

岩手県校友会	
設立:1992年	
会員数:150名(2008年12月現在)	
*県外在住の岩手県出身者のうち希望者も会員とする。	
総会時期:例年7月頃	
総会参加者数:15~20名程度	



糸洲会長

立命館との出会い、学生時代の思い出をお伺いします。

糸洲●中学3年生のとき、両親に「沖縄追放!」と言われまして(笑)、たまたま西宮へ1人で移りました。県立西宮高校での恩師から、「私の母校だ。受けてみる」と勧められて、立命館に入りました。中国文学専攻でした。

広小路学舎のすぐ北側の寺に下宿して、勉強は二の次で、好きな本を読みふけったり、西宮の友人を訪ね歩いたりしていました。とうとう2回生の終わりに白川静先生に呼ばれ、「糸洲君、私が君のお父さんだったら嘆くよ」とお叱りを受けました。「先生、僕もそう思います」と答えると、先生は大笑いなさって、「とにかく、あと2年、大いに頑張れ!」と。これでエンジンがかかり、4年で卒業できました。白川先生への感謝を込めて、そしてせめてもの罪滅ぼしに、先生の『字統』『字訓』『字通』の3部作を手元に置いています。

校友会活動は、いつから、どのように?

糸洲●卒業後、父親の印刷会社を手伝ってから、72年に28歳で製版会社を始めました。

校友会との出会いは、確かその翌年、73年の晩秋でした。沖縄県校友会はこの年の春に正式発足したことでありますが、実際のところ

ころは私より10年ほど先輩の方々が、それ以前の活動が途切れてしまったのを惜しんで再結成なさったものだと思います。ある日、「あなたは立命館をご卒業でしょう。忘年会をかねて同窓会をするので、ぜひ来て下さい」と電話がありました。在学中には同郷の学生に出会ったことがなく、沖縄にも校友がいるのかと驚きましたが、「ぜひ参加します」と言いました。咄嗟に、我が母校立命館、という気持ちが湧き起こってきたんですね。

先輩方は意気盛んでした。そして、「印刷関連のことは君に頼むよ」と。それ以来、ずっと何らかの役について、今日までやっております。裏方の仕事を手伝うことで、付き合いにより深みが出る。それが楽しみでした。

沖縄県校友会の特長や、会長の抱負をお聞かせ下さい。

糸洲●県外在住の当県出身者も含め、会員約300名。離島もある中で、毎年30~40名が総会に出席します。なかなかの結束力でしょう。

それから若さです。2008年度の当役員は14名ですが、昭和の卒業生は顧問2名を含めて5名だけで、金城信尚副会長(95国関)や島袋健代表幹事(93経済)ら、平成の卒業生が大いに頑張ってくれています。後々のために、20代から40代の皆さんが参加しやすいほ



2008年総会にて。若い校友が多い。

# 沖縄県

沖縄県校友会会長  
糸洲 昇さん(66文)  
2008年8月就任

オブザーバー  
沖縄県校友会顧問(前会長)  
古波倉正松さん(78理工)

うがいいですから。もっと若い現役学生にも参加してもらうため、彼らが帰省中の8月に総会を開催することにしています。

校友会は、何といても楽しくなければね。私は、年1回の総会の機会を、みんなで最大限に楽しめるよう、風通しの良い会にしたいと思います。古波倉顧問も一言どうぞ。



(左から)比嘉武宏副会長(78法)・古波倉顧問・糸洲会長

古波倉●知らない人と会うのはどうも…、と考えてはもったいない。いつも新しい出会いがあり、人の輪を広げられることが校友会の魅力であり、その縁をいかに活かすかは自分次第です。校友会では、社会的な立場にかかわらずどんな人でも一校友。公平に付き合える楽しさを一緒に味わいましょう。

沖縄県校友会	
設立:1973年	
会員数:313名(2008年12月現在)	
*県外在住の沖縄県出身者も会員とする	
総会時期:例年8月頃	
総会参加者数:30~40名程度	

2008年11月下旬～2009年2月下旬に行われた各団体の行事です（判明分）

詳しくは校友会ホームページをご覧ください  
<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/>

## 都道府県校友会ほか

- ◆ 12/13 栃木県校友会総会  
(25名・宇都宮東武ホテルグランデ)
- ◆ 12/20 石川県校友会総会  
(120名・ANAクラウンプラザホテル金沢)
- ◆ 1/31 北海道校友会総会  
(80名・ホテルライフオーツ札幌)



栃木県校友会総会



北海道校友会総会

- ◆ 1/31 北朋会総会  
(40名・ホテルライフオーツ札幌)
- ◆ 2/4 弁理士校友会総会  
(中国料理グランド白楽天)
- ◆ 2/17 姫路市役所衣笠会  
(40名・ホテル日航姫路)



北朋会総会

## 学部・学科校友会

- ◆ 11/29 地理学同窓会ホームカミングデー  
(68名・地理学教室マップライブラリほか/京都タワーホテル)
- ◆ 1/16 建設会三重県支部総会  
(35名・エキシブ鳥羽アネックス)
- ◆ 1/24 建立会総会  
(150名・ヴィアーレ大阪)
- ◆ 2/14 法学部大久保会総会  
(150名・衣笠キャンパス)



地理学同窓会ホームカミングデー



建立会総会

## 地域校友会

- ◆ 1/16 上海校友会新年会  
(31名・日本料理「大久保」)
- ◆ 1/18 浜松会新年会  
(53名・グランドホテル浜松)
- ◆ 1/24 愛媛県校友会松山支部総会  
(50名・松山全日空ホテル)
- ◆ 2/7 湘南クラブ総会  
(30名・ホテルKOYO)
- ◆ 2/7 姫路立命会総会  
(80名・まねき食品本社)
- ◆ 2/14 富嶽会総会  
(30名・香港大美園)



上海校友会新年



浜松会新年会



愛媛県校友会松山支部総会



姫路立命会総会

## サークルOB・OG会

- ◆ 12/7 全国女子大学ゴルフ対抗戦優勝感謝の集い  
(京都全日空ホテル)
- ◆ 1/18 女子陸上競技部 全日本大学女子駅伝大会3連覇・選抜駅伝6連覇祝勝会  
(150名・グランドプリンスホテル京都)
- ◆ 2/22 写真研究会OB会総会  
(30名・京料理「井筒」)



女子陸上競技部 全日本大学女子駅伝大会3連覇・選抜駅伝6連覇祝勝会

## 職域校友会

- ◆ 12/13 行政書士京都立命会総会  
(京都第2タワーホテル)
- ◆ 1/16 高松市役所立命会総会  
(28名・とんぼ)
- ◆ 1/17 京都府衣笠会総会  
(40名・平安会館)



高松市役所立命会総会

## その他の会

- ◆ 11/21 1970年度一部法学部2回生Lクラス同窓会  
(6名・よし菜)
- ◆ 12/27 2000年度立命館大学BKC学生オフィスOB・OG会総会



1970年度一部法学部2回生Lクラス同窓会

# オール立命館校友大会2009

9月27日(日) 11:00(予定) ~ 名古屋国際会議場にて開催決定!

9月26日(土) 久屋大通公園(もちの木広場)にてプレイベントも開催!

校友大会は、2007年度の東京開催を皮切りに、全国で展開することが確認されています。今年度の「オール立命館校友大会2009」は、東海ブロック4県(愛知県・三重県・岐阜県・静岡県)の校友会が本部と共に実行委員会を構成し、総力を結集して企画・運営を行います。総会、レセプションパーティー、著名人をゲストに迎えての講演会、開催地にちなんだイベントなど、校友だけでなく学生、在学学生父母、一般の方も1日を通して楽しめる多彩な企画を準備中です。企画の詳細やチケット申込方法等は、次号(237号)および立命館大学校友会ホームページにて6月末頃にご案内します。



写真提供: 財団法人名古屋観光コンベンションビューロー

**開催予定イベント** \*現在の予定です。企画内容・時間等は変更になる場合があります。

- ◎著名人による講演会、著名校友のトークセッション
- ◎学生によるステージ、アトラクション
- ◎東海ブロックならではのイベント・アトラクション
- ◎校友大会総会&レセプションパーティー(有料・事前申込が必要です) など

お問い合わせ先: 立命館大学校友会事務局 TEL075-813-8216

## 「立命館大学全国都道府県校友会事務局長・幹事長会議」を開催

1月17日(土)午後1時から、グランドプリンスホテル京都において標記の会議を開催した。全国52都道府県校友会の事務局担当者約100名と、西村義行・浅賀博・尾崎敬則各副会長、中村義孝(総務)・渡辺三彦(財務)・中村和歳(広報)・柴田晃(事業)・加藤美佐子(IT)各専門委員長、常任幹事18名が一堂に会した。

西村副会長の挨拶の後、各委員長から「2008年度専門委員会活動報告」がなされた。次に「全国都道府県校友会における校友会活動についてのアンケート」の結果報告および会報「りつめい」への印刷物同封規程の報告、来る4月1日に予定されている校友会ホームページリニューアルに伴う各都道府県校友会ホームページの更新についての連絡等が行われた。続いて8つの地域ブロックに分かれ、「校友会活動の活性化」について課題や意見を出し合う分科会を行った。

午後5時15分からの懇親会の冒頭には、「ライスボウル」で日本一に輝いたアメリカンフットボール部と、「全日本大学女子駅伝3連覇」「全日本大学女子選抜駅伝6連覇」を成し遂げた女子陸上競技部から主将らが登壇し、日頃の応援に対するお礼を述べた。乾杯の後には、いずれのテーブルでも、分科会で語りきれなかった内容など多岐にわたる話が弾んでいた。

なお同日、この会議に先立って「2008年度第3回校友会常任幹事会」が開かれ、「オール立命館校友大会2008」の総括ならびに松田全功財務委員(74理工)と佐伯希彦事業委員(63理工)の追加承認がなされた。



# 都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

2009年3月1日現在

## ■校友会本部役員

<b>会長</b>	山中 諄	'65経済	南海電気鉄道(株)取締役会長兼CEO	<b>副会長</b>	尾崎 敬則	'70法	尾崎総合法律事務所所長
<b>副会長</b>	浅賀 博	'58理工	パシフィックコンサルタンツ(株)調査役	<b>副会長</b>	住野 公一	'70経済	(株)オートボックスセブン相談役
<b>副会長</b>	渡邊 申孝	'58経済	東洋精機(株)取締役相談役	<b>副会長</b>	村上 健治	'70産社	大和ハウス工業(株)代表取締役社長
<b>副会長</b>	西村 義行	'60経済	農業自営	<b>副会長</b>	肥塚 浩	'87院経済	(学)立命館副総長
<b>副会長</b>	清家 邦敏	'61経済	大成印刷(株)代表取締役社長	<b>監事</b>	佐竹 力総	'70法	(株)美濃古代表取締役社長
<b>副会長</b>	布垣 豊	'61法	京都中央信用金庫理事長	<b>監事</b>	林 幸雄	'73産社	(株)電広エイジェンシー代表取締役社長
<b>副会長</b>	西村 隆	'63法	びわ湖放送(株)代表取締役社長				

## ■都道府県校友会

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号 ※(職)は職場電話番号
立命館大学北海道校友会	広長 明夫	006-0805 札幌市手稲区新発寒五条1-8-1 中川 均 様	(職)011-251-3373
立命館大学東北北海道校友会	合田 賢二	080-0010 帯広市大通南21-18-2 勇昇印刷 本田 公一 様 気付	(職)0155-23-7414
立命館大学青森県校友会	鎌田 学而	030-0132 青森市横内亀井207 對馬 修治 様	017-738-6119
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	020-0802 盛岡市つづが丘7-3 酒井 博忠 様	019-654-3893
立命館大学宮城県校友会	下村 泰雄	984-0831 仙台市若林区沖野4-5-20 柏原 晋 様	022-286-9928
立命館大学秋田県校友会	兜森 勲夫	010-0041 秋田市広面字糠塚110-1 ジェネラス広面306 兜森 勲夫 様	018-834-6871
立命館大学山形県校友会	奥山 正明	991-0032 寒河江市南町2-3-13 奥山 正明 様	0237-86-8387
立命館大学福島県校友会	富田 良夫	970-8026 いわき市平字六間門15 三村 智春 様	0246-24-1386
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	310-0903 水戸市堀町2247-8 木村 幸夫 様	029-252-8401
立命館大学栃木県校友会	高野 雅文	329-1104 宇都宮市下岡本町3792-4 笠原 朋雄 様	028-673-1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	370-3521 高崎市棟高町1802-409 石橋 博 様	027-372-8422
立命館大学埼玉県校友会	常田 幸正	350-1105 川越市今成2-8-3 常田 幸正 様	049-224-6535
立命館大学千葉県校友会	山本 良夫	273-0005 船橋市本町7-17-25-502 山本 良夫 様	047-422-3270
立命館大学東京都校友会	住野 公一	103-0028 中央区八重洲1-3-19 辰沼建物ビル8階 立命館東京オフィス 気付	03-5204-8611
立命館大学神奈川県校友会	田中 健明	226-0006 横浜市緑区白山4-23-19 長谷川 貞栄 様	045-933-4662
立命館大学新潟県校友会	小野 守通	950-0982 新潟市中央区堀之内南2-15-1 小畑 正敏 様	025-247-2478
立命館大学富山県校友会	坪井新一郎	930-0004 富山市桜橋通り2-28 (株)名鉄トヤマホテル 顧問 吉野 久幸 様 気付	(職)076-431-2201
立命館大学石川県校友会	加納 裕	920-0211 金沢市湊2-21 加賀木材(株)木場 密雄 様 気付	(職)076-238-4131
立命館大学福井県校友会	村尾 敬治	910-3634 福井市大森町31-21 古村 隆一 様	0776-98-4671
立命館大学山梨県校友会	野口 忠蔵	400-0024 甲府市北口1-5-26 ラブリハイツ707 川崎 毅 様	055-251-0428
立命館大学長野県校友会	桑原 政見	390-0822 松本市神田1-28-2 降幡 信秀 様	0263-25-0279
立命館大学岐阜県校友会	成瀬 正	503-0886 大垣市郭町東2-10 (株)満留美 房野麻紀子 様 気付	(職)0584-73-1763
立命館大学静岡県校友会	大石 育三	416-0946 富士市五貫島639-2 大石 育三 様	0545-63-8984
立命館大学愛知県校友会	林 幸雄	461-0004 名古屋市中区栄3-15-31 住友生命千種ニュータービル14F (株)電広エイジェンシー 加藤智大 様 気付	(職)052-937-1250 (FAXのみ)
立命館大学三重県校友会	中山 一幸	516-0036 伊勢市岡本町3-14-7 勝原 誠一 様	0596-23-3586
立命館大学滋賀県校友会	終 勝次	520-8686 大津市浜町1-38 (株)滋賀銀行 システム部 高津 知仁 様 気付	(職)077-521-2413
立命館大学京都校友会	布垣 豊	604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学 校友・父母課内	075-813-8216
立命館大学大阪校友会	村上 健治	541-0041 大阪市中央区北浜3-1-18 島ビル6F 立命館大阪オフィス 気付	06-6201-3610
立命館大学兵庫県校友会	大庫 典雄	661-8520 尼崎市南塚口町7-29-1 園田学園女子大学 寺田 豊 様 気付	080-5713-6372 (中野)

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号 ※(職)は職場電話番号
立命館大学奈良県校友会	渡邊 申孝	634-0008 橿原市十市町834-5 ダイワ写真(株) 阪田 光彦 様 気付	(職)0744-25-8204
立命館大学和歌山県校友会	浦 哲志	640-8303 和歌山市鳴神248-51 山田 啓二郎 様	073-471-4911
立命館大学鳥取県東部校友会	本多 達郎	680-0874 鳥取市叶122 西垣ビル (株)アド・ネットワーク 内 西垣 佳則 様 気付	(職)0857-30-0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683-0037 米子市昭和町25-1 サンイン技術コンサルタント(株)内 大野木 昭夫 様 気付	(職)0859-32-3308
立命館大学島根県校友会	坂根 勝	690-0863 松江市比津町436-4 永窪 秀臣 様	0852-27-0593
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	700-0903 岡山市幸町7-14 天水 幸町店 守屋 博司 様 気付	(職)086-232-0945
立命館大学広島県校友会	伊藤 利彦	739-1734 広島市安佐北区口田町2-24-16 鎌倉 正則 様	082-843-5462
立命館大学広島県東部校友会	岩村 寿夫	720-0082 福山市木之庄町3-8-5 岩村 寿夫 様	084-923-4214
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	758-0011 萩市椿東2550-1 吉富 晋吾 様	0838-22-8623
立命館大学宇部小野田校友会	渡邊 浩	755-8601 宇部市常盤町1-7-1 宇部市教育委員会 内 森島 正信 様 気付	(職)0836-34-8613
立命館大学徳島県校友会	宮崎 房子	771-4261 徳島市丈六町溝筋21-1 宮崎 房子 様	088-645-0897
立命館大学香川県校友会	村上 良一	760-0071 高松市藤塚町2-12-15-404 穴吹 学 様	087-862-3565
立命館大学愛媛県校友会	渡部 英夫	791-8022 松山市美沢1-1-23-203 石田 二郎 様	089-925-2547
立命館大学高知県校友会	松岡 昭臣	780-8086 高知市針木東町26-51 みにに産業(株) 三谷 修一 様 気付	(職)088-844-9650
立命館大学福岡県校友会	清家 邦敏	816-0092 福岡市博多区東那珂3-6-62 大成印刷(株)内 清家 邦敏 様 気付	(職)092-472-2621
立命館大学北九州校友会	高藤 昌和	804-0025 北九州市戸畑区福柳木2-3-11 初村 雅敬 様	093-882-9240
立命館大学佐賀県校友会	西村 邦彦	842-0014 神崎市神崎町姉川2215 伊香賀 俊介 様	0952-53-4243
立命館大学長崎県校友会	高稲 裕	850-0037 長崎市金屋町4-5 (株)長崎ガードシステム 内 山口 孝司 様 気付	(職)095-825-3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	860-0017 熊本市練兵町1 財団法人地域流通経済研究所内 飯田 俊之 様 気付	(職)096-322-2566
立命館大学大分県校友会	岡崎 信行	870-0128 大分市森108-83 佐藤 昌彦 様	097-521-5392
立命館大学宮崎県校友会	道休 邦博	880-0022 宮崎市大橋1-199 南 英輝 様	0985-24-2663
立命館大学鹿児島県校友会	福元 寅典	890-0054 鹿児島市荒田1-62-8 (有)宮田光二商店 内 西元 泰光 様 気付	(職)099-253-1211
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	900-0005 那覇市天久2-28-23-203 島袋 健 様	090-7587-0858

## ■学部校友会

衣笠キャンパス 603-8577 京都市北区等持院北町56-1				びわこ・くさつキャンパス 525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号	校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	大井 一星	法学部事務局	075-465-8175	立命館大学経済学部同窓会	住野 公一	経済学部事務局	077-561-3940
立命館大学産業社会学部ユニオン	都鳥 正喜	産業社会学部事務局	075-465-8184	立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務局	077-561-3941
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務局	075-465-1211	立命館大学理工学系同窓会連絡協議会	池田 秀人	総合理工学院企画課	077-561-2624
立命館大学政策科学部同窓会	新井 弘徳	政策科学部事務局	075-465-7877				
立命館大学文学部校友会	西川 富雄	文学部事務局	075-465-8187				

## ■海外支部

立命館大学校友会北カリフォルニア支部 立命館大学ロスアンジェルス校友会 立命館テキサス会 立命館大学校友会シカゴ会	立命館ニューヨーク校友会 立命館大学校友会バンクーバー支部 立命館大学英国校友会 立命館大学インドネシア校友会	立命館大学タイ国校友会 立命館大学シンガポール校友会 立命館大学校友会マレーシア支部 在韓立命館大学同窓会	立命館大学校友会台湾支部 立命館大学香港校友会 立命館大学北京校友会 立命館上海校友会
--	--	--	--

# 立命館はご卒業後もあなたのそばに

各種証明書の発行や施設利用、生涯学習支援についてご案内いたします。

用件	窓口	施設・手続きなど
各種証明書の申込	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>法学部事務室</b> (法学部/法学研究科) TEL.075-465-8175</li> <li>◆<b>文学部事務室</b> (文学部/文学研究科) TEL.075-465-8187</li> <li>◆<b>産業社会学部事務室</b> (産業社会学部/社会学研究科) TEL.075-465-8184</li> <li>◆<b>国際関係学部事務室</b> (国際関係学部/国際関係研究科) TEL.075-465-1211</li> <li>◆<b>政策科学部事務室</b> (政策科学部/政策科学研究科) TEL.075-465-7877</li> <li>◆<b>経済学部事務室</b> (経済学部/経済学研究科) TEL.077-561-3940</li> <li>◆<b>経営学部事務室</b> (経営学部/経営学研究科) TEL.077-561-3941</li> <li>◆<b>総合理工学院事務室</b> (理工学部/理工学研究科) TEL.077-561-2625 (情報理工学部) TEL.077-561-5202 (テクノロジー・マネジメント研究科) TEL.077-561-3421</li> <li>◆<b>独立研究科事務室</b> (応用人間科学研究科・言語教育情報研究科・先端総合学術研究科) TEL.075-465-8375</li> <li>◆<b>プロフェッショナルスクール事務室</b> (法務研究科・経営管理研究科・公務研究科) TEL.075-813-8270</li> </ul> <a href="http://www.ritsumei.jp/index-j.html">http://www.ritsumei.jp/index-j.html</a>	<p>卒業学部・研究科の事務室にお越しいただくか、封書でお申し込みください。直接お越しの際は必ず身分証明書(運転免許証・健康保険証等)をご持参ください。郵送での申し込みには、下記の必要事項を明記して頂き、『発行手数料分の郵便為替(定額小為替)』と『返信用封筒(切手を貼り、送り先を明記)』を同封の上、お送りください。</p> <p><b>【必要事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 氏名・フリガナ</li> <li>● 卒業年月</li> <li>● 卒業学部・学科・専攻・学生証番号</li> <li>● 生年月日</li> <li>● 現住所</li> <li>● 連絡先電話番号</li> <li>● 利用目的(簡単に)</li> <li>● 請求される証明書の種類と枚数、和文/英文の別</li> </ul> <p>※厳封が必要な場合はその旨ご指定ください。</p> <p><b>【手数料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業(修了)証明書・成績証明書・基礎資格単位修得証明書・各種証明書:1通300円</li> </ul> <p>※英文証明書も同額です</p> <p><b>【返信用封筒・郵送料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 証明書枚数1枚まで:定型筒最大封筒(長形3号)に切手80円を貼付してください。</li> <li>● 証明書枚数2枚以上:ご卒業の学部・研究科事務室にお問い合わせください。</li> </ul>
図書館の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>衣笠図書館</b> TEL.075-465-8217</li> <li>◆<b>メディアセンター (BKC)</b> TEL.077-561-2634</li> <li>◆<b>メディアライブラリー (BKC)</b> TEL.077-561-3943</li> <li>◆<b>朱雀リサーチライブラリー</b> TEL.075-813-8257</li> </ul> <a href="http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/">http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用登録申請が必要です。下記の必要書類をご用意のうえ、衣笠図書館1階インフォメーションカウンター、メディアセンター1階サービスカウンター、メディアライブラリー2階サービスカウンターのいずれかで所定の手続きをお済ませください。</li> <li>● 申請は、閉館時刻の1時間前まで受け付けています。</li> </ul> <p>※衣笠図書館では、昼休み(開講中は11時半~12時半、それ以外は12時~1時)には発行を行っておりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 開館日・開館時間は、ホームページにてご確認ください。お問い合わせください。</li> <li>● その場でライブラリーカードを発行します。</li> </ul> <p><b>【申請にあたってご用意いただくもの】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次のいずれかの書類の原本(現住所の確認をさせていただきます。)             <ul style="list-style-type: none"> <li>運転免許証・健康保険証・住民票の写し(発行後1ヵ月以内)</li> </ul> </li> <li>2. 利用申請書(図書館備え付け)</li> </ol>
東京オフィスの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>東京オフィス</b> 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-19 辰沼建物ビル8F (東京駅八重洲北口から外堀通りを渡り北へ徒歩1分) TEL.03-5204-8611</li> <li>◆<b>立命館東京キャンパス</b> 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 (東京駅日本橋口直結) サピアタワー8F TEL.03-5224-8188</li> </ul>	<p>東京オフィスは立命館の東京(首都圏)における学生の就職活動の拠点、および東京校友会事務局として機能しています。オフィス内にはインターネット端末も設置されており、校友の方もご利用いただけます。東京キャンパスでは東京(首都圏)でのリエゾン活動や、「金融と法」、「税法」、「医療経営」、「京都文化」、「中国語」、「中国書道」などの多彩な公開講座を開講しています。</p> <p>※校友への各種証明書発行はしておりません。</p>

用件	窓口	施設・手続きなど
アカデミア@大阪の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>大阪オフィス</b> 〒541-0041 大阪府中央区北浜3-1-18 島ビル6F (京阪電車淀屋橋駅14-B出口すぐ) TEL.06-6201-3610</li> </ul>	<p>立命館アカデミア@大阪は立命館の大阪での教育拠点で、学生の就職活動支援、大阪校友会事務局に加え、社会人大学院(MOT、MBA)も開講しています。行政機関や企業と学園をつなぐ総合窓口としての機能も有しています。</p> <p>校友活動にセミナールームの利用をしていただくことができます(事前申込要)。</p> <p>※校友への各種証明書発行はしておりません。</p>
末川記念館の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>末川記念会館</b> TEL.075-465-8234</li> </ul> <a href="http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/suekawa/">http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/suekawa/</a>	<p>末川博名誉総長の生前の書斎を模したメモリアルルーム、京都地方裁判所から移設した貴重な陪審法廷、ホール、会議室(事前申込要)、レストラン等があり、立命館土曜講座も当会館で行っています。研究会や会議にご利用ください。</p>
大学院への進学	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>各学部事務室(大学院担当)・研究科事務室</b> [TEL. P.20参照] または</li> <li>◆<b>大学院課</b> TEL.075-813-8178</li> </ul> <a href="http://www.ritsumei.jp/gr/index_j.html">http://www.ritsumei.jp/gr/index_j.html</a>	<p>立命館大学大学院は、各研究科とも積極的に社会人を受け入れ、働きながらも学びやすいシステムの導入に努めています。研究科ごとに多様な社会人入学制度がありますので、詳しくは各研究科の事務室までお問い合わせください。</p>
エクステンションセンターの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>エクステンション事業課</b> [衣笠] TEL.075-465-8297 [BKC] TEL.077-561-2853 [朱雀] TEL.075-813-8285</li> </ul> <a href="http://www.ritsumei.jp/extension/index_j.html">http://www.ritsumei.jp/extension/index_j.html</a>	<p><b>【エクステンションセンター 校友特別受講制度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>対象</b> 立命館大学、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、立命館アジア太平洋大学大学院のいずれかを卒業または修了している方</li> <li>● <b>制度内容</b> 立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度です。</li> <li>● <b>対象講座</b> 法曹(司法試験)、公認会計士、税理士、弁理士、国家公務員I種職、外務省専門職、日商簿記検定1級を目指す試験対策講座。講座内容については事前にご確認ください。</li> <li>● <b>利用方法</b> エクステンションセンター窓口へお申込みください。申込書は、ホームページからダウンロードできます。</li> <li>● <b>提携専門機関</b> 辰巳法律研究所 <a href="http://www.tatsumi.co.jp/">http://www.tatsumi.co.jp/</a> 大原学園 <a href="http://www.o-hara.ac.jp/">http://www.o-hara.ac.jp/</a> TAC <a href="http://www.tac-school.co.jp/">http://www.tac-school.co.jp/</a> 早稲田セミナー <a href="http://www.w-seminar.co.jp/">http://www.w-seminar.co.jp/</a></li> </ul>

大学の業務日時	
通常の業務日時	月~金曜日 9時~17時30分
通常の休業日	土・日曜日、祝日、年末・年始休暇 ※図書館、国際平和ミュージアム等の休日は別途定めます

住所等の変更ご連絡先
<p><b>立命館大学校友会事務局(校友・父母課)</b> TEL.075-813-8216 FAX.075-813-8217</p> <p><b>【住所変更専用フリーダイヤル】</b> TEL.0120-252094 FAX.0120-252095</p> <p><b>【校友会ホームページからも変更可能です】</b> <a href="http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/">http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/</a> ▶【登録内容変更について】</p>

# 未来を生みだす学園に ——「こころをひとつ」にして、社会の要請に応える

川口 清史 総長

新コーナー「立命館 明日へのことば」。

ここでは、校友のみなさまへ、立命館の今とこれからのビジョンをお届けします。

第1回は、学生とアメフトと俳句をこよなく愛する川口総長です。

**2008年度は立命館スポーツが  
華々しい活躍を見せてくれましたね。**

立命館大学のアメリカンフットボール部、女子陸上競技部そして男子ホッケー部が全国優勝し、立命館宇治高等学校女子陸上競技部も全国3位の成績を残しました。学生・生徒スポーツの醍醐味は、1試合ごとに成長の過程を見られることです。例えば、アメリカンフットボールは、社会人チームのほうが強いというのが試合前の評価でした。しかしそれを覆し、大きな感動を味わったみなさまも多いと思います。私も正直、体がふるえる思いがしました。立命館人の「こころがひとつ」になった気がしました。

**私たちが「こころをひとつ」にしてつくる立命館。  
将来の学園像についてどのような理想をお持ちですか。**

すでにみなさまにも使っていただいているように、立命館大学は、2007年に「+R 未来を生みだす人となる。」というタグライン(キャッチフレーズ)を制定しました。これは人生に「+R(立命館)」をすることで、未来を生みだす人になって欲しい、



全国有数の教育システムを使いこなして欲しいというメッセージです。

それとともに、立命館学園も「未来を生みだす学園」になりたいと思っています。立命館の教育が日本の教育を変える。立命館の研究が日本の研究を変える。このことによって、日本の社会も変えることができる。私はこのようなイメージを持っています。実際、立命館アジア太平洋大学や、小学校からはじまる一貫教育の改革は、日本の教育のモデルとなってきました。現在の日本社会は100年に一度の経済危機と言われ、閉塞感で覆われていますが、たくましいチャレンジスピリットを持ってこのような状況を切り拓くのが立命館だと思っています。

**それを実現するために重視していることは何ですか。**

一番のキーワードは「国際化」でしょう。これからの社会を考えるためには、グローバルな視点が欠かせません。特に、発展したアジア諸国と如何にパートナーシップを構築できるか。この点は大きな課題となります。立命館には多数のアジアからの留学生や卒業生がおり、立命館アジア太平洋大学もあります。中国・ベトナム政府などとネットワークも持っています。このような到達点を足場にしながら、中国・韓国・東南アジア諸国などと新しい未来を生みだしていきたい。立命館は日本の教育・研究機関であるとともに、アジアの教育・研究機関でもあります。アジアとの人的交流を更に強化し、学生交流や共同研究を推進していきたいと思っています。

また、アクティブに人生を切り拓く学生を育てるには、従来の専門教育だけでなく、問題解決力、コミュニケーション力、論理力、発信力などといった広い意味での教養教育も大切です。幸い立命館では小集団教育を重視してきた歴史があります。小集団でのグループワークを通じて、「立命館ならではの

力」を持った人を育成してきました。このような到達点を検証し、より発展させたかたちにしたいと思っています。

**なるほど。「立命館ならではの力」ですね。**

「たくましさ」と言ってもいいかもしれませんが、また、立命館人としての誇りも忘れないで欲しいと思います。先日、教養科目「日本の近現代と立命館」の講義を行ないました。その際、学生から質問がありました。「今年度は特別転籍などの問題があった。総長は立命館の歴史に誇りを持っているのか」と。特別転籍問題は確かに間違いでした。しかし、このような出来事は社会からの要請に真摯に応え続ける努力をしてきた中で起こしたことでした。いま、その間違いを正面から捉え、是正をはかっています。教育・研究機関を「象牙の塔」とはせず、未来を見つめながら誠実に社会と向き合う。これが学祖であり、政治家でもある西園寺公望の精神でした。我々はこの姿勢、この精神に対して誇りを持つべきだと思っています。

**立命館の精神を体現している校友のみなさまへの  
メッセージをお願いしますか。**

校友のみなさまは、「立命館ならではの力」を発揮しておられる非常に頼もしい存在です。私たちに知恵と力をお貸しいただき、立命館とともに歩んでいただきたいと願っています。校友大会や各都道府県校友会総会などでお目にかかれまして際には、是非ともご意見をいただきたいと思っています。私はいつも、みなさまにお会いするのを楽しみにしています。

また、生涯学習の場として学園を活用していただきたいと思っています。典型的な例は社会人大学院ということになるでしょうが、それだけではありません。衣笠・BKC・朱雀・APU・東京・大阪などで公開講座を行っていますし、ゼミの先生を訪問しても、全国各地の校友会に参画していただいても良いでしょう。さまざまなかたちで学園に関わっていただき、未来を生みだすきっかけにしたいと思います。

**ありがとうございました。最後に普段の先生のお姿についてご紹介いただけますか。**

これまでもお話しさせていただきましたが、私はアメリカンフットボールの大ファンなのです。かつてアメリカ・ピッツバーグ大学で研究していた際に魅せられました。ピッツバーグ大学は全米チャンピオンにも輝いたこともある強豪校なんです。

文化的なことも好きですよ。今は声楽と俳句に取り組んでいます。実は声楽は月に2回、レッスンも受講しています。数年前のことですが、「定年まであと数年。何か新しいことをはじめてみ



よう」と考えました。小学校から高校まで合唱部に所属していたので、「またやってみよう」と。最初は思うように声が出ず、苦しかったこともありましたが、ちゃんと歌えるようになりたいと思う一心で続けてきました。2009年の初めには、仲間と発表会も行いました。スポーツとともに文化的にも豊かな学園にしたいと思っています。

俳句は、総長に就任してからはじめました。パズルと同じように脳を刺激して良いと聞いたからです。同じ高校の先輩でもある京都大学の尾池和夫前総長が、句集を刊行されるほどだと聞いたことも刺激となりました。1月3日のライスボウル(アメリカンフットボール)の感動も句にしてみました。

若武者の 夢掴み奪り 春三日

**SPORTS** スポーツ  
問い合わせ先:スポーツ強化オフィス  
075-465-7863

## アメリカンフットボール部

甲子園ボウル、ライスボウルを制覇し、  
パンサーズ日本一!!

### パナソニック電工杯 第63回毎日甲子園ボウル in NAGAI

(12月21日 長居陸上競技場)

▶優勝(4年ぶり6回目)

### アメリカンフットボール日本選手権 第62回ライスボウル

(1月3日 東京ドーム)

▶優勝(5年ぶり3回目)



12月21日、東西大学王座決定戦「パナソニック電工杯第63回毎日甲子園ボウル in NAGAI」において、立命館大学パンサーズは法政大学トマホークスを19-8で破り、4年ぶり6回目の優勝を果たした。

続く、1月3日、新春の東京ドームで行われたアメリカンフットボール日本選手権第62回ライスボウルでパンサーズは、社会人王者パナソニック電工インパルスに13対17で破り、5年ぶり3回目の日本一に輝いた。

インパルスは2年連続4回目、パンサーズは3回目の日本一をかけての対決。日本代表やパンサーズのOBも多く所属する強豪インパルスにパンサーズがどこまで攻め込めるかが注目されていた。

浅尾将大・主将(経済4)は、「最強チームを相手に、学生らしい戦いができた」と振り返り、古橋由一郎・ヘッドコーチは、「この1年、最初はとても弱いチームだったが1人1人が努力し、優勝することができた。選手たちは応援して頂いた皆さんへの感謝を忘れずに、チャンピオンチームとしての誇りを持って、これからもさらに人間的に成長していっ

てほしい」と語った。  
皆さまのご声援ありがとうございました。

## 女子陸上競技部

### 全日本大学女子選抜駅伝

(12月23日 茨城県つくば市)

▶優勝(大会新記録で6連覇)

大会記録 1時間38分33秒

1区 竹中理沙(経営1)

2区 駒井直美(経済1)

3区 小島一恵(経営3)

4区 田中華絵(経済1)

5区 岩川真知子(経営1)

6区 沼田未知(理工1)

レースは、つくば中央公園からスタート。10月に行われた全日本大学女子駅伝対校選手権の上位12校と各地区学連選抜8チームの計20チームが出場し、筑波大学陸上競技場までの6区間、30.67kmで行われた。

立命館大学女子陸上競技部が大会新記録となる1時間38分33秒で優勝し、第1回大会から連続の6連覇を達成した。



## スキー部

### 全日本学生選手権大会 初の全国制覇!

(1月17日 岩手県八幡平市安比高原)

▶女子回転競技 優勝

金子未里(経済2)



競技は2回の滑走の合計タイムで争われ、金子さんは1回目の滑走で優勝争いの予想タイムを上回る46秒台の滑りでトップに立った。続く2回目の滑走でも積極的な滑りを見せ、合計1分39秒53のタイムで2位に約1秒の差をつけ、堂々の優勝を飾った。

金子さんは2月に中国のハルビンで開催された冬季ユニバーシアードに日本代表として出場した。

## スケート部

▶川口貴容子(産社1)

カーリング種目で冬期ユニバーシアード

代表選出

## バレーボール部

### 全日本大学選手権大会

(12月1日~7日)

▶ベスト8進出

### 第27回全国都道府県対抗女子駅伝

### 京都監督 十倉みゆき('96産社) 立命館学園の学生・生徒が大健闘!

(1月13日 京都市)

▶京都チーム 優勝(5大会連続13回目)

京都チームが京都府から京都府スポーツ賞優秀賞、京都市から京都市スポーツ特別大賞を受賞

本大会には、立命館学園から立命館大学、立命館アジア太平洋大学、立命館宇治高等学校の学生・生徒が、京都府・滋賀県のみならず他県(福島県・茨城県・福岡県・熊本県・大分県)の代表としても出場し、各チームに貢献した。



京都府庁を訪れた京都チームのメンバー  
(提供:京都府スポーツ生涯学習室)

### 立命館学園から出場した京都チームメンバー

夏原育美(立命館宇治高校3)

近藤 好(立命館宇治高校2)

伊藤 紋(立命館宇治高校2)

小島一恵(立命館大学経営3)

### 立命館学園から他県代表として出場した学生

福島県 境田 遥(立命館大学経営3)

茨城県 阿南 光(立命館大学経済1)

福岡県 田中華絵(立命館大学経済1)

熊本県 坂田優希(立命館大学経済1)

大分県 大木美里(立命館アジア太平洋大学APS 2)

## スポーツ 今後の予定

### 硬式野球部

関西学生野球 春の立同戦

5月23日(土)・24日(日)・[予備日]25日(月)

西京極球場 ナイトゲーム(時間未定)

## CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先:学生オフィス  
075-465-8167

## 囲碁研究部

### 第7回全日本学生囲碁王座戦

(12月22日~23日 東京・日本棋院会館)

▶創部初の優勝!

高津昌昭(法3)

学生囲碁王座戦は、全国各地の予選を勝ち抜いたメンバー16名によるトーナメント方式で実施された。

この結果を受け、高津さんは2009年3月に行われる世界学生囲碁王座戦への出場権を獲得した。また、2007年度の学生本因坊に続くタイトル獲得となった。

### 第52回全日本大学囲碁選手権

(12月24日~27日 東京・日本棋院会館)

▶優勝(3年ぶり3回目)

全日本大学囲碁選手権は、全国から予選を勝ち抜いた8大学による総当たり戦で行なわれ、チームとしての勝ち星が最も多い大学が優勝となる。囲碁研究部は、初日から7名の大会メンバーと応援部員全員が一丸となり順調に勝ち星を重ねていき、最終戦を迎えた時点で、立命館大学と慶應大学が全勝で並び、直接対決により優勝が決定した。

## 将棋研究会

### 第23回全国オール学生将棋選手権戦

(1月10日・12日 東京・毎日ホール)

▶個人戦優勝

稲葉 聡(経済5)

全国オール学生将棋選手権戦・個人戦は、全国各地の小学生から大学院生の参加者195名による予選・トーナメントで行われた。本学の選手の優勝は2003年以来の快挙。

## RBC(立命館大学放送局)

### 第25回NHK全国大学放送コンテスト

(12月6日~7日)

▶テレビドキュメンタリー部門・準優勝

▶CM部門・7位

## 応援団チアリーダー部

### 第20回全日本学生

### チアリーディング選手権大会

(12月13日~14日 国立代々木競技場)

▶6位入賞(創部以来最高)

## 交響楽団

### 第100回記念定期演奏会を開催

(12月12日 びわ湖ホール)



交響楽団が「第100回定期演奏会」を開催し、1,402名もの来場者を迎えた。

演奏会は、佐藤功さん(国関3)の指揮による立命館大学校歌の演奏で幕を開け、阪哲朗氏(ドイツ・アイゼナハ劇場音楽監督、立命館大学交響楽団オーケストラアドバイザー)の指揮によって、1曲目「[ニュルンベルクのマイスタージンガー]より前奏曲(ワーグナー作曲)」、2曲目「ピアノ協奏曲 20番 K.466(モーツァルト作曲)」、そして3曲目「春の祭典(ストラヴィンスキー作曲)」を演奏し

た。演奏終了後は、会場からの大きな歓声に包まれ、賛辞の拍手がしばらく鳴り止まないほど素晴らしい演奏だった。

## かるた会

### 第53期クイーン位決定戦

(1月10日 近江神宮)

史上最年少の永世クイーン誕生!

▶優勝 楠木早紀(産社1)(5連覇)

小倉百人一首で競技かるた日本一を決める「第53期クイーン位決定戦」が近江神宮で開かれ、立命館大学かるた会の楠木早紀さん(産社1)が、5連覇と同時に、史上最年少で3人目の永世クイーンとなった。



## 第2回 立命館サンクスデー開催!!

(1月11日 衣笠キャンパス)

本イベントは、日ごろから深いご理解とご支援をいただいている衣笠キャンパス近隣の方々へ、感謝の気持ちを込めて2007年度より実施している。

約300名の幅広い年齢層の方々が来訪し、本学学生・教職員等との交流を深めた。厳冬の中、日差しも暖かく方々が笑顔が見られる一日であった。今後も地域に根ざした大学づくりを進めるために、キャンパス近隣の方々に参加していただけるような取り組みを進めていく予定である。



**「実社会で学ぶ」映像学部生  
産学官連携で劇場公開映画  
「鴨川ホルモー」を制作**

**■ 産学官連携協定の締結**

立命館大学は2006年、松竹(株)および京都府と「産学官連携協定」を締結しました。この協定締結の目的は、映像産業の発展を担う人材育成および映画・映像技術の開発を通じて、京都を中心とした文化の創造・発展を目指す取組みを三者で進めることです。すでに山田洋次監督が映像学部客員教授に就任して授業を行ったり、2008年からは映像学部の学生が松竹(株)ヘインターンシップに行ったりと、この協定は着実に具体化しています。

**■ 映画「鴨川ホルモー」制作への参画**

映像学部は2009年4月18日公開の映画「鴨川ホルモー」制作にあたって、学生参加を促し、撮影協力を行なってきました。「鴨川ホルモー」は京都を舞台に学生たちの恋と友情を描いた同名の青春ファンタジー小説です。映像学部の学生は制作スタッフやエキストラとして延べ約120名が参加。エキストラの誘導、弁当配りや小道具作りなどを体験しました。また、衣笠キャンパス中央広場や教室、食堂での撮影も実現しました。参加した学生は撮影現場でしか見えない部分や撮影の厳しさを学ぶなど、実社会での学びを体験しました。



©2009「鴨川ホルモー」  
フィルムパートナーズ

**■ キャラクター商品も開発**

この「鴨川ホルモー」のプロモーションの一環として学生たちが松竹(株)と劇場で販売するグッズを共同開発することとなりました。映像学部の授業「プロデュース実習」を受講する学生40名が7グループに分かれ、アイデアを競いあう発表会を実施。商品案は最終的に2案に絞られ、グループを再編成し、1月9日の最終プレゼンテーションに臨みました。この日発表された2案は、映画館や商店街での調査にもとづく「安価で実用的なあぶらとり紙」と、映画の原作本の売れ行きを考慮した「持ち歩くことで宣伝効果があるブックカバー」です。松竹関係者が話し合った結果、「あぶらとり紙」が採用され、実際に映画館などで販売される予定です。



「あぶらとり紙」のプレゼンテーション

**■ 今後の展開**

今後は山田洋次監督のもとで、映画「京都太秦恋物語(仮題)」を制作する実習型授業が行なわれることになっています。2009年4月には松竹京都映画撮影所がリニューアルされ、映像学部の学生もこの撮影所やスタジオで本格的な実習を積むことになっています。

これからも産学官連携のもとで、さまざまな教育・研究が行なわれることとなります。「現場で学ぶ」映像学部生。今後の活躍が期待されます。

**映画「鴨川ホルモー」**

- ◎監督: 本木克英
- ◎原作: 万城目学「鴨川ホルモー」
- ◎脚本: 経塚九雄
- ◎出演: 山田孝之、栗山千明ほか
- ◎協力: 立命館大学ほか
- ◎制作・配給: 松竹
- 2009年4月18日全国ロードショー

**ベンチャービジネスコミュニティ(VBC)  
株式会社川勝總本家と  
新商品を共同開発**

「立命館大学ベンチャー・ビジネス・コミュニティ(VBC)」の学生が、漬物店の川勝總本家(京都市下京区)と共同で、漬物と米、茶葉のセット商品「ごはんとう、それが川勝總本家」を開発しました。若い世代に京漬物のおいしさを知ってもらおうことが狙いです。

川勝總本家が「京漬物の魅力を広く伝える商品を」とVBCに開発を依頼。VBCは学内でのアンケート等の調査を重ねて商品化しました。

ご飯に合うと学生に人気のあった「あたり漬(キュウリ)」「はりはり漬(大根)」に、京都ならではの「すぐき入り刻み菜風味」の3品を選び、最高品質の丹後産米(300g)、宇治茶(20g)とセットにしました。現代的な黒の立方体のパッケージに、おいしいご飯の炊き方やぶぶ漬けの作り方などの説明書も入れました。

税込み1260円。川勝總本家本店、京都駅ビル専門店街The CUBE店およびインターネットで販売したところ、当初販売数の500個が完売しました。



**龍安寺周辺観光マップを  
学生が作成  
英語・中国語・ハングルで**

産業社会学部・小澤亘教授の外国人観光プロジェクトにおいて、キャンパス北隣の龍安寺とその周辺を英語、中国語(簡体字、繁体字)、およびハングルで紹介する

観光情報地図「龍安寺ぐるっとマップ」を作成し、1月4日まで無料配布しました。

外国人観光客に京都観光を迷うことなく楽しんでもらおうと、龍安寺周辺で100人を超える観光客にアンケートしてニーズを調べました。その結果、「バスの行き先や乗り換えの場所が分からない」「道路案内やレストランに英語情報が少ない」「ベジタリアン情報が乏しい」などの声がありました。このため龍安寺から嵐山などへのバス利用法、嵐電の駅までの詳細な道、ベジタリアンメニューとしての漬物とご飯のセットを提供する店などをマップで紹介、龍安寺の詳細な解説も掲載しました。2009年には仁和寺マップを作成する予定です。



### 経済情勢の悪化に対応します 奨学金を拡充へ

最近の経済情勢の悪化を受けて、2009年度、経済的な理由で修学が困難な新入生や在学生在を対象にした奨学金制度を拡充することになりました。

経済的な理由で学費を払うことが困難な在学生在（新入生含む）を対象にした「修学奨励奨学金」の枠を2008年度の750人から1250人へ、今春の受験生を対象にした「緊急入学時給付奨学金」については20人から200人へ増やします。修学奨励金は原則として2009年度学費の4分の1（約25万円）、入学時給付金は同年度学費の半額（約50万円）を免除します。

当面は単年度の施策となりますが、2009年度以降も経済不況が続くようであれば、継続的に行なうことを検討します。

### 留学に先輩が助言 留学アドバイザー制度を発足

トラブルや見込み違いもある海外留学を意義あるものにしてもらおうと、2008年11月から、留学経験のある学生が留学を希望する学生にアドバイスする「留学アドバイザー制度」を始めました。大学内のブースに常駐し、予約なしで相談に応じる取り組みです。

本学の留学プログラムは全国でも有数の規模を誇っており、年間1500人を超える学生が海外で学んでいます。短期から長期、学位取得などさまざまなコースがあります。

これらのプログラムについて十分に考え、しっかり準備してもらおうと、相談しやすい先輩学生にアドバイザーになってもらうことになりました。

「留学ブース」は、 Semester 開講中の平日3・4限に国際センターにおいて開設されています。

### 私大FD連携フォーラム設立 組織的な教育改革を進めます

12月6日、大学教育の質を高めるため、立命館大学が代表幹事校となって、全国私立大学FD連携フォーラムを設立しました。立命館朱雀キャンパスで行った式典では、新任教員の研修プログラムの共同開発など今後の活動を話し合いました。

「FD」は、大学の組織的教育改革のことを指します。このフォーラムは少子化により大学全入時代に入り、大学に求められる



る人材も変化するという現在の情勢を受けて立ち上げました。参加大学は同志社大、関西大、関西学院大、慶応義塾大、中央大、法政大、明治大、立教大、早稲田大です。

川口清史学長は「大学教育における入り口、プロセス、出口をどう社会に示せるか。全国の10大学で新しい波をつくりたい」と挨拶しました。

### 立命館宇治高等学校 世界の名門大学進学を目指す 国際バカロレア ディプロマ・プログラム候補校に

立命館宇治高等学校は、世界水準の教育プログラム「国際バカロレア (IB) ディプロマ・プログラム (DP)」を実践する候補校に選ばれました。2010年度までの認定を目標に掲げています。

IBは国際的な共通教育プログラムで、IB機構（本部・スイス）の認定が必要となります。立命館宇治高等学校は、インターナショナルスクールを除いては、関西地方で初めてのIBDP候補校となりました。このプログラムは高校2～3年生を対象とし、世界の様々な古典の読み込みや学んだことのプレゼンテーション（説明）訓練、奉仕活動などに取り組みます。プログラム修了後、世界共通の試験で一定の成績を収めれば、ハーバード大やケンブリッジ大などの名門大学に優先的に入学することもできるようになります。

IBDP候補校となったことに伴い、立命館宇治高等学校では2009年度、アドバンスド・イマージョン・プログラム (AIP) を新設。その新入生には特別プログラムを用意し、10名程度の少人数クラスで、社会、数学、芸術などの教科を英語で指導します。2年生からディプロマ・プログラムを実践して、3年生の秋には世界共通試験に臨めるよう準備を進めていきます。

**立命館グッズの  
オンラインショッピングサイト  
近日オープン!!**

立命館グッズがインターネット上で購入できるようになります。

このところ立命館グッズに関するお問い合わせや遠方からのお買い求めが増えています。立命館グッズをより身近に、お手軽にお求めいただくことができるよう、ショッピングサイトを設けます。もちろん、電話・FAXでの販売も行なっております。

ショッピングサイトの開設時期は4月中旬を予定しております。

皆さま是非ともご利用ください。

- お問合せ先：(株)クレオテック 店舗営業課
- 電話075-463-9740



マグカップ

チョコレート

セロテープ

ガムテープ

**定年退職教員紹介** 大学・大学院教員のみご紹介いたします。\*学部別、氏名五十音順、敬称略

**立命館大学**

■ 法学部教授

安本 典夫 (やすもと のりお)

■ 経営学部教授

土居 靖範 (どい やすのり)

橋本 輝彦 (はしもと てるひこ)

■ 産業社会学部教授

高垣忠一郎 (たかがき ちゅういちろう)

津田 正夫 (つだ まさお)

■ 国際関係学部教授

安藤 次男 (あんどう つぎお)

及川 正博 (おいかわ まさひろ)

■ 文学部教授

松本 英紀 (まつもと ひでき)

■ 政策科学部教授

利根川孝一 (とねがわ こういち)

■ 総合理工学院理工学部教授

石井 明 (いしい あきら)

岩清水幸夫 (いわしみず ゆきお)

中西 恒彦 (なかにし つねひこ)

成木 勇夫 (なるき いさお)

春名 攻 (はるな まもる)

藤村 茂芳 (ふじむら しげよし)

前田 浩一 (まえだ ひろかず)

■ 総合理工学院情報理工学部教授

林 恒俊 (はやし つねとし)

■ 総合理工学院生命科学部教授

小野文一郎 (おの ふんいちろう)

立木 隆 (たちき たかし)

中村 尚武 (なかむら なおたけ)

■ 大学院先端総合学術研究科教授

神林 恒道 (かんばやし つねみち)

■ 大学院法務研究科教授

大久保史郎 (おおくほ しょうろう)

■ 大学院経営管理研究科教授

千代田邦夫 (ちよた くにお)

渡辺 峻 (わたなべ たかし)

**立命館アジア太平洋大学**

■ アジア太平洋マネジメント学部教授

若林 洋夫 (わかばやし ひろお)

■ アジア太平洋学部教授

畠田 展行 (はただ のりゆき)

**2009年度立命館大阪プロムナードセミナーのご案内**

テーマ型の連続講座「立命館大阪プロムナードセミナー」。下記3講座を実施します。

「京都文化講座」は、文学部の協力によるもので、後期には大阪大学との連携プログラムとして「大阪・京都の色彩」と題して開催する予定です。ご期待下さい。

【問合せ・申込み先】立命館大阪オフィス Tel.06-6201-3610

◆ 京都文化講座

前期「京の荘厳と雅」(全6回)

【コーディネーター】瀧本和成文学部教授

回	開講日	タイトル	担当
1	6/1(月)	「源氏物語」の雅 —その生成と展開—	中西 健治・文学部教授
2	6/8(月)	京の雅言	彦坂 佳宣・文学部教授
3	6/15(月)	京都と歌舞伎 —坂田藤十郎の雅—	赤間 亮・文学部教授
4	6/22(月)	夏目漱石と《京都》 —「門」の世界—	瀧本 和成・文学部教授
5	6/29(月)	近代陶芸と《京都》 —魯山人の世界—	中ノ堂一信・ 京都造形芸術大学教授
6	7/6(月)	川端康成と《京都》 —「古都」の世界—	木村 一信・文学部教授

【受講料】前期(全6回) 10,000円 ※1回ずつの場合は2,000円/回

◆ 木津川計芸文化講座

【講師】木津川計氏

(「上方芸能」発行人、元立命館大学教授、和歌山大学客員教授)

回	開講日	タイトル
1	5/15(金)	時代が刻む人間像 —新派の明治と現代—
2	7/17(金)	純愛と幕情の力 —長谷川伸と新国劇、水上勉と地人会—
3	9/18(金)	世代間ギャップはなぜか開いたのか —演劇・歌・笑いの場合—
4	11/20(金)	芸能における個人の役割 —松竹新喜劇と藤山寛美—
5	2010年 1/15(金)	夫婦同伴文化はなぜ育たなかったのか —観客倍増のために—
6	2010年 3/19(金)	高齢社会と芸能文化 —シニアの文化力が発揮される時代—

【受講料】全6回 6,000円 ※1回ずつの場合は1,500円/回

◆ 安齋育郎だまし・だまされ講座

【講師】安齋育郎氏

(立命館大学国際関係学部教授)

回	開講日	タイトル
1	5/25(月)	人間はだまされ易いのだ —「超能力マジック」を体験しよう—
2	7/13(月)	科学者だってだまされる —野口英世も森鷗外も錯誤に陥った—
3	9/14(月)	だまし絵の秘密をさぐる —奥行きを平面上で表す試みの限界—
4	11/16(月)	自然界にもいるだまし屋 —生存競争で培われた見惚れる妙技—
5	2010年 1/18(月)	詐欺師が横行する世の中 —「思い込み」と「欲得」は危ない—
6	2010年 3/15(月)	国家が国民をだますとき —一年金・戦争・核兵器とだましの罫—

【受講料】全6回 6,000円 ※1回ずつの場合は1,500円/回

# 「浅尾を日本一の主将に！」 目標に向かってチーム全員で掴んだ日本一

浅尾将大 さん(経済4) アメリカンフットボール部 パンサーズ 主将



アメリカンフットボール日本一の座を掴んだ、立命館大学パンサーズ。

左アキレス腱断裂で今季絶望と言われながらも、フィールドの外からチームを指揮し、そして誰よりも応援し続けた主将、浅尾将大さん。シーズン開始前に最弱だと評価されたチームを栄光へと導いた軌跡について伺った。

## Q 日本一おめでとうございます。主将になってまず意識されたのは何でしたか？

3回生のシーズンを終え、投票で自分が次のキャプテンになることが決まった時、このチームを日本一にしようと思えました。しかし当初は、低回生中心チームとの試合内容すら散々なもので、強い危機感と焦りを感じました。そこで、ミーティングを増やし、チーム内の意思疎通を徹底しました。プライベートでも積極的にコミュニケーションを取り、4回生と低回生のメンバー同士の気持ちがずれないように心がけると、徐々にチームの気持ちがひとつになってきました。

## Q ところが、怪我をされたのですね。

5月に、早稲田大学との交流試合で、左アキレス腱を断裂してしまいました。この時はキャプテンとしての責任感や仕事がたくさんあったので、悲しみを覚えている暇はありませんでした。また、この療養中にフィールドの外からチームを見ることで、選手一人ひとりを客観的に見ることが出来たことは、とてもよかったと今となっては感じています。

ようやく回復に向かい、リハビリを開始した



10月、踏み込んだ左足から大きな破裂音が。病院に運ばれる時、何度も「断裂していませんように」と心の中で願いましたが、診断は2回目の左アキレス腱断裂、今季絶望。チームメイトに涙は見せまいと我慢しましたが、家に帰った瞬間、悔しくて悲しくて、涙がこぼれて止まらなかったのを覚えています。

## Q そのつらい出来事から立ち直り、ライスボウルを目指したのはなぜでしょうか？

それはチームメイト、そしてファンのみなさんがいたからだと思います。チーム全員がフィールドに立てない僕の気持ちも一緒に背負って戦ってくれました。また、僕がもう試合に出られないことを知ったファンの方々が、「浅尾を日本一の主将に！」というスローガンを立てて応援してくれました。こうした周りの人の気持ちがあったからこそ、キャプテンとして、なによりチームの一員として戦う決意をすることができたのだと思います。

ようやく迎えた宿敵、関西学院大学との試合。今までの全ての想いが入った良いゲームでした。しかし、この完全燃焼で気持ちが少し緩み、改めて士気を高めるのに苦労しました。甲子園ボウルに向け「俺たちはここで終わるチームじゃないだろう！」とメンバーを奮い立たせ、学生日本一になることができました。

本当の日本一をかけたライスボウルの対戦相手、パナソニック電工インパルスは、日本代表選手やパンサーズのOBも多く在籍する、学生とは比べ物にならないほどの実力を持ったチームでした。僕はメンバーがあきらめの気持ちを持

つことを一番恐れました。「相手は強いが、どこかに隙もあるはず!試合はやってみないと分からない!気持ちの面では絶対に負けないようにしましょう!」と何度も何度もみんなに言い続けました。4回生一人ひとりの顔を思い浮かべながらメッセージを書き、試合前日に渡しました。

そうして臨んだライスボウル。約34000人の観客が見守る中、今年のパンサーズの強みであるディフェンス力を生かし、互角に戦うことができました。最後のインパルスのパスは危なかったですが、必ずチームメイトが取ってくれると信じていました。そして日本一になれた瞬間、嬉しい気持ちが強すぎて、不思議なことに涙も流れませんでした。

## Q ライスボウルを振り返って、何をお感じですか。

メンバーや支えてくれた方々が「浅尾を日本一の主将に!」と言って戦い、応援してくれたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。この勝利は、選手やトレーナー・裏方として支えてくれたメンバー、ファンの方々、全員の強い気持ちで掴んだものだと思います。今回の経験を通じ、「人の気持ちを動かす難しさ」を感じました。ただ、みんなに対して僕が出来る事は、「良いものは良い、悪いものは悪い」と、嘘いつわりなく自分の気持ちを伝える事だと思い、ずっと実行してきました。キャプテンとしてチームの気持ちをひとつにするために1年間やってきた事は間違っていなかったと今改めて感じています。

取材・文/川口菜摘(経済3)

校友会・グループ インフォメーション			
校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
奈良県校友会総会	5/ 9 (土) 14:00	ホテル日航奈良	阪田 光彦 (職)0744 (25) 8204
能楽部創部80周年記念大会	6/14 (日) 9:30	京都観世会館・ウエスティン都ホテル	瀬川 卓弥 070 (5433) 8084
滋賀県校友会総会	7/12 (日) 11:00	ポストンプラザ草津	高津 知仁 (職)077 (521) 2413
オール立命館校友会大会2009	9/27 (日) 11:00 (予定)	名古屋国際会議場	校友会事務局 075 (813) 8216

※(職)は職場電話番号

## 新校友歓迎会等のお知らせ

場所	日時	企画名	会場・申込方法など	お問合せ先・参照URL
札幌	6/27(土) 15:00	北海道新人歓迎会	<b>【会場】</b> 日本生命札幌ビル5F「ACU [アキュ] ラウンジ」(JR札幌駅徒歩4分)	【立命館大学北海道校友会HP】 http://rits-do.net/
東京	4/25(土) 15:00	リコネクト東京 Freshers Welcome Party — 1st contact 出合い — 【先着80名】	<b>【会場】</b> 丸の内ビルディング36F「BREEZE OF TOKYO」(JR東京駅徒歩1分) <b>【参加申込方法について】</b> 以下6点をメールに記載して申込アドレス宛て送信してください。 ①名前(ふりがな) ②会社名 ③出身学部(研究科) ④卒業年月 ⑤連絡先(携帯電話) ⑥PCアドレス <b>【申込アドレス】</b> reconnect.welcome@gmail.com (すでに申込受付中です) <b>【注意点】</b> スマートカジュアルのドレスコードを設定しております(ジーンズ・サンダル不可)	【立命館大学 校友・父母課】 alumni@st.ritsumei.ac.jp
	6/13(土) 13:00	関東新人歓迎会	<b>【会場】</b> 有明パナソニックセンター (りんかい線「国際展示場駅」徒歩2分)	【立命館大学東京校友会HP】 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/shibu/tokyo/ http://alumni.ritsumei.jp/tokyo/(4/1より)
名古屋	6/13(土) 17:00	新校友歓迎企画 新歓イベント	<b>【会場】</b> サンリツビル2F PLUS PARK (地下鉄「栄駅」徒歩3分)	【立命館大学愛知県校友会HP】 http://www.rits-aichi.net/index.php
大阪	6/13(土) 14:00	関西新人歓迎会 2009 — The First Point of "Re-Connect" — 【先着200名】	<b>【会場】</b> スイスホテル南海大阪36 F「TAVORA 36」(地下鉄御堂筋線なんば駅徒歩1分) <b>【参加申込方法について】</b> 以下6点をメールに記載し、申込アドレス宛て送信してください。 ①名前(ふりがな) ②会社名 ③出身学部(研究科) ④卒業年月 ⑤連絡先(携帯電話) ⑥PCアドレス <b>【申込アドレス】</b> almuni@st.ritsumei.ac.jp (すでに申込受付中です) ★件名を「新人歓迎会参加申込」としてください。 ★申込アドレスのアカウントはわざと「almuni」にしています。ご注意ください。 <b>【注意点】</b> ビジネスカジュアルのドレスコードを設定しております。	【立命館大学 校友・父母課】 alumni@st.ritsumei.ac.jp
			<b>【会場】</b> (株)SORA Kobe office (「三宮駅」徒歩5分) <b>【参加申込方法について】</b> 以下6点をメールに記載し、申込アドレス宛て5/1までに送信してください。 ①お名前②卒業年③学部④住所⑤電話番号⑥メールアドレス <b>【申込アドレス】</b> terada@sonoda-u.ac.jp	
神戸	5/15(金) 19:00	J-Club First Meeting In Kobe	<b>【会場】</b> 「トラベルカフェ ステーションホテル小倉店」(JR小倉駅徒歩0分)	【立命館大学北九州校友会HP】 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/shibu/kitakyusyu/ http://alumni.ritsumei.jp/kitakyusyu/(4/1より)

## BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただいております。

◆山崎泰正氏('61院法) 著

『京・嵯峨嵐山の伝承を歩く』

ふたば書房＊1500円＋税

◆長谷川清氏('74法)(実務登記法令研究会代表) 著

『不動産登記実務必携2009

—法・令・規則・準則・通達等対照条文一覧表—

民事法研究会＊3800円＋税

◆津田広志氏('81文) 著

『リ・クリエイティブ表現術—発想～チューニング～書き方』

新水社＊1800円＋税

◆楠見朋彦氏('95文) 著

『塚本邦雄の青春』

ウェッジ＊800円＋税

## 校友消息 (判明分)

叙勲 2008年春分

☐旭日小綬章

谷口義晴氏('59理工)

日本セラミック会長兼社長

☐瑞宝単光章

三戸清利('64理工)

民生委員

## 立命館大学入学式のご案内

◆日時：2009年4月1日(水) 開場13:00、開式14:00～(予定)

◆式場：京セラドーム大阪(入場無料)

◆申し込み方法：

電話・FAX・電子メールのいずれかにて、入学式参観希望の旨ご明記の上、住所・氏名・卒年・学部を校友会事務局にお知らせください(事務局連絡先は裏表紙をご覧ください)。

◆締切：3月26日(木) 事務局必着

※申し込みなき方にはご参観いただけません。

## 北野

天神の梅の花も例年より10日も早く満開となり、京都はすっかり新入生を迎える準備モードになっています。昨年の6月から校友会広報委員長をしている中村和歳です。若返った広報委員に囲まれながら、19年の経験が新たなエネルギーの源になるよう頑張ります。退職後、京都の環境問題と係わっています。新たな視点で社会に、校友会に貢献できれば幸いです。

広報委員会も昨年までの検討を踏まえ、今年度から新体制で活動し、この校友会報「りつめい」も新企画を盛り込んでお届けします。その1つが、「都道府県校友会会長を訪ねて」です。各都道府県校友会の会長さんを順に訪問してご紹介しながら、会活動の特徴やその地で頑張っている皆さんの様子、今後のご抱負などを全国の仲間にお伝えする企画です。

早速、先日、北上川から望む雪景色の南部富士・岩手山に抱かれた岩手県校友会を取材しました。20名ほどの皆さんに交じって、和やかで素朴さに溢れた新年会にも参加し、南部訛の岩手の温もりを実感しました。各号お2人ずつの会長さんを訪ねたいと考えています。今後も楽しみに。

(中村KAZ)

## 「夭寿

貳わず、身を修めて以て之れを俟つは、命を立つる所以なり」立命館の由来となった孟子の言葉です。在学中にも目にしていたであろうこの言葉、しかし当時は気に留めることもありませんでした。

卒業後、縁あって再びこの言葉にめぐりあう機会を得ました。この言葉を改めて目にした時、理由はわかりませんが、ふと何か感じるものがあり、今も脳裏に焼き付いています。社会に出て、少しばかり人生経験を積むことができた今日、この言葉のもつ意味について、深く考えられるようになっていたのかもしれない。人の寿命はわからない。若くして亡くなる人もいれば、長生きする人もいる。しかしそれは天命で決められていること。だから生きている間は我が身の修養に努めて精進し、天命を待つのが人としての本分を全うすることである。と教えてくれるこの言葉は、人生の様々な場面で判断に迷った時、一つの指針を示してくれる言葉として、私は大切にしています。

(M)

## 「司法

書士」という私の職業では様々な人間ドラマが展開する事があります。昨秋、ある資産家の遺言をめぐる永年の兄弟喧嘩がようやく決着した時の事です。それまでに多くの専門家達が関与し、最後に私が担当した「不動産登記」手続で法務局が予想外の先例解釈で受付を拒否してきました。関与した専門家は全員が法務局の解釈に異を唱えましたが、この登記ができないと時間的・経済的損失は甚大で担当司法書士の私も責任を問われます。

私自身の司法書士生命が危機に瀕した場面でした。思い悩んだ末、私が所属した「学生法律相談部」顧問の二宮周平先生(家族法)からこの事案の私達の解釈に賛同する「意見書」を頂戴し、関与者全員の意見書と共に法務局に再考を促す文書を提出しました。提出後、数週間が過ぎ、法務局から上級庁と協議の結果、当初の判断を撤回し「登記を受け付ける」旨の回答を得ました。

この瞬間、職業人としての私の命は救われました。二宮先生から意見書を頂けたお蔭で関係者全員の意思が統一できたからでした。私の「命の恩人」二宮周平先生はこの春から法学部長に就任されます。私はますます校友会広報や法律相談部OB会や法学部同窓会の活動にはまっしぐらです。

(宮西徳明)

## 「家族

」で正月に、吉野山(奈良)に行った。家族といっても私の親、女房の両親、娘夫婦と孫、ホームステイしている留学生の9人の大所帯である。普段は夫婦2人で気ままに暮らしているが、ここ数年は「家族」の行事となった。温泉に入り、除夜の鐘を突きに蔵王堂に行く。蔵王堂では除夜の鐘とともに動行がはじまるが、私は境内で焚き火に当たり、1時間ほど、ぼおーとした時間を過ごす。

親の健康、夫婦の健康、娘、孫のことを考える至福の時間である。深夜、参道のお茶屋で冷えた体をあたためて宿に戻る。1年の終わりりと1年の始まりを「家族」ですごす。大切にしたい時間だ。また、正月に「仲間」と会うと、すぐに昔の学生時代にもどる。あのときはどうだった、こうだったといつも同じような会話が流れる。貧しかった学生時代の苦しさ、楽しさ思い出し、「互いの健康」をねがう「また会おう」と言って別れる。

家族、友人と語らうときほど、素の自分に戻り素直になれるときはない。「ほっとする」。この会報「りつめい」が、校友にとって「ほっとする」存在であってほしい。

(田中稔)